

わ

わあ (輪) 【名詞】 丸くなったもの すべて長い物を曲げて丸くした物。わの二拍化 桶のたが (籬) (志、三、員、一、松、多、上、阿、張、鳥、北、尾、南) [会話] たがやなんや (何か) まああるい (丸い) もん (物) を ワア言うて、ワアん (に) なって言うて、丸くなれ言うのを ワアん (に) なれ 言うやんかい (言います)。丸くたいもん (丸い物) を ワアや (だ) 言うて、踊りする時や (は) 早よ (く) ワアん (に) なって 言うやんかい。なんでも (何でも) 丸くたい もんは ワアやなあ (です)。

わあかける 大袈裟にする。煽動する。法螺を吹く。[会話] ワアカケル 言うやんかい (言います)、ワアカケトイテ来た (ておいて来た) 言うて ちよいと (少し) 人を おだてる (持ち上げる) よおなのおでも (のでも) ワアカケル 言うやんかい。

…**わい** 【終助詞】 です 文末に有って感情を添えたり軽く念を押ししたりする意を表す 咏嘆をこめた確認を表す (志 (波切、桑郡、桑市、員、四、安、津、松、張、伊、鳥、尾、北、南、熊) [会話] 言葉の終いに (終りに) そおやわ (だ) 言うて、嘘やわあ (だ) 言うたり (言ったり) ほんとかやわ (本当だ) 言うたり。おや (私は) あしこい (あすこへ) 行てくるわ (行って来ます) 言うて。その時わだけで すますのおと (のど) ワイ言うて いてくるワイ (行って来ます) 言うて、そして (そうして) 来ても (帰って来ても) いてきたワイ (行って来ました) 言うて。

わい 【代名詞】 1) 自分 一人稱 私 俺 (志、阿、一、張、多、名、伊、南) 2) お前 君 あなた 二人稱 同等若しくは目下の者に使用する。(志、鳥、鈴郡、鈴市、津、一、飯、多、北、南) [会話] 2) 呼ぶのもこや (これは) ワイゲ (お前の家) のなら (です) 言うて、友達呼ぶのん (のに) ワイゲン (に) いたや (行ったら) おららった (居なかった)。ワイラよお言うたり、のらよ (お前よ) 言うたり。あんたらさん お前さん言うの それを ワイラよお、のらよお 言うて 言うねやんかい (言うのです)。ワイラよお 行て来たのこ (行って来たのですか) 行くのこ (行くのですか) 言うやんない (言うでしょう)、昔や (は) そんな (それが) とっとき (取って置き) の 言葉みたよな (ような) かった (でした)。ワイラよお やてやら (だとか) ワイゲン (に) なら言うたり。そして

したしとか (親しい所は) のらよ言うて、のらな (が) どいらい (大体) したしいね (親しいのです)。ワイラよお言うのも、友達親しのおら (者に) ワイラよお言うて ワイラよお遊ぼやんこ (遊びましょう) 言うて。知らん (知らない) 始めて会う人にか (には) そえん (そんなに) ワイラよお言うこた (事は) 言わせんけど (言いません)。ワイラよお言う時の “ら” は大勢おると 一人おると ワイヤ (です)。男にか (には) わいとな (の) 言うて われと 言うの (のです)。男の人には 女の方から そいな (そんな) 言葉使わせんなあ (使いません) あがみげ (貴方の家) の 言うな (のは) 言うけど (言います)、おなご (女) は男ん (に) 言う時や (は) あがみげえ (へ) のお (です)。

わいげ 【名詞】 御前の家 [会話] ワイゲのしゃじまのおこな (舅が) おるわい (居ます)。

わいた 【代名詞】 お前は あなた 君 二人稱 私に近い、ワイとあなたの複合形 (鳥)

わいた 1) 群れた 2) 騒いだ 3) 湯が沸騰した

わいと 【代名詞】 1) 一人稱 自分 (志 (立神)、鳥) 2) 二人稱 お前 (志)

わいとげ 【名詞】 貴方の家 わいとらどおし参照

わいとら 【代名詞】 わいとの複数 君達 わいとらどおし参照

わいとらどおし 【名詞】 お前達仲間 [会話] 男の人ら ワイトラドオシ 言うてなあ、ワイトラや (だ) 言うてなあ。おなが (女が) わがとらどおし。人の事をむこおの人を わいと (君) 言うて、あんたげ (貴方の家) は 言う事を ワイトゲは 言うのなあ、ワイトゲ ま 大漁やのお (ですな) とか、じよおし (漁師) の人ならなあ。ワイトギヤ (貴方の家は) なんや っとなねどい (なにしていますか) 言う事は あんた (貴方) とこ (所) は なん (何) したととか (しているか) 言う事を言うの (のです)。ワイトラ 今日 何処向いて いたんどい (行ったのですか) 言うて、おら (俺は) まあ 今日、南いたよお (行きました) 言うて ワイトラや (だ) 言うて。あなたらは 言う事を ワイトラや、われとら言や (言えば) ええんけど (よいのだが) ワイトラや (です)。

わいとる 1) 湯などが沸騰している 2) 岩清水などが沸出している 3) 群がっている 4) 騒いでいる。

盛り上がり居る。[会話] 1) ゆう (湯) な (が) ワイトルとか、³⁾ いわし (鰯) な (が) ワイトルとかなあ。鳥な (が) たける (騒ぐ) よって (から) いわしな (鰯が) ワイトンネなあ (ているのだ) 言うて。じょおし (漁師) の人ら、鳥山な (が) 有るよってん (から) 言うて、鳥山目がけて 行くね (のです) さいらな (さんまが) なぶら (群) な (が) 有ってもなあ 鳥な、それ つつこ (突っこお) 言うて、騒ぐ鳥山な (が) 有るよって さいらな おんなあ (居る) いわしな (鰯が) ワイトンナア (ている) 言うてなあ、魚な (が) 群とる (ている)、魚な (が) 上からめえとるもんで (見えているので) 鳥な (が) つつこ 言うてな、わいわい言うて 鳥な (が) 空で 騒んで (騒いで)。ワイトル 言うて 魚な (が) 群とん (も) (ているのも) 有るし、ゆうな (湯が) ワイトルのも有るし、ごおなわく (腹が立つ) のも有るし、²⁾ しゅうじ (湧き水) やどけな (などが) 吹き出しとんのおも (ているのも) ワイトル、湧き水な (が) しとてまあ (しているのも) 言うてなあ。³⁾ にげな (人間が) よけ (沢山) 寄とんのもなあ (ているのも) わいわい言うて ワイトラレ (ている) 言うて。よけ (沢山) 寄とると (ていると) にげ (人間) でも ワイトル 言よおったなあ (言っていました)。

わいら 【代名詞】お前 あなた 二人稱 ワレラの音便 (大言海) (志 (片田、布施田)、鳥 (国崎 加茂)、度、員、桑市、三、四、鈴市、鈴郡、一、久、松、多、阿、張、度、伊)

わが (我) 1) 我が 私の 自分の 一人稱 (志、一、上、阿、北、南、熊) 2) お前。貴方。二人稱 3) 反称 自分 わが事はわがとせえ (北) [会話] 1) ワガもんや (物だ) 言うて ワガ ワガトのもん (物) を言うの (のです) こやまあ (これは) おんな (俺の) もんや (物だ) 言うたり、²⁾ ワガな (の) もんや ワガばっか (ばかり) 言うて、ワガばっか してとか、ワガばっか 言うて 言うのは、人 (他の人) の事言うんけど (言うのだが) 人な (が) 此ればっか (ばかり) 持つとるやんない (持って居るでしょう) そして 私な (が) へんしよして (ねたんで) ワガばっか、あれ持ってとか言うの (のです)。ワガばっか 食うて とか 言うのなあ (言うのです)。

わが 【名詞】魚名 めばる カサゴ科の海魚。全長 30cm に達し目が大きい。アカメバルとクロメバルが有り、クロメバルを言う (志 (鶴方、立神、志島、甲賀、国府)、鳥 (国崎、石鏡)、四、度、伊) [会話]

ワガ、めえ (目) 飛び出しとると (て居ると) あや (あれは) ワガの目やなあ (だ)。ワガ、目な (が) 真つ黒ん (に) して 飛び出たよおん (に) しとるもん で (して居るので)。

わかいし 【名詞】青年 小学校卒業後二十才迄 わかいしゅの末尾の略 (志 (国府、甲賀、畔名、片田、鶴方、神明、立神、安乗)、鳥 (坂手 答志 管島)、桑郡、桑市、員、三、松、張、名、伊、北、南) [会話] ワカインな (が) 言うて、まあみい (へ) 乗るにぎや (人間は) ワカインの、ほん (本当に) びちびち しとんの (しているの) ばっか (ばかり) でああ (ばかり)。

わかいしゅ (若衆) 【名詞】青年二十才迄の若者 (志 (浜島、鶴方、神明、立神、甲賀、国府)、鳥 (鳥羽 国崎)、鈴市、北) [会話] ワカイン 結婚する迄 をなあ 十七、八のおわ (のが) ワカイン。ワカインな (が) よけ (沢山) 寄って言うやんない (言うでしょう)。今し (今の) 青年団のもんら (者達) を ワカイン 言よおった (言っていました)。“ワカイン 働け、食え 飲め年寄り” 言うて年寄りや (は) なんもならんと (何もならず) 喋とて (て居て) 食うたり飲んだり すん (の) だけで (するの) だけで そや もんで (それで) 食え飲め年寄り言うて、のおだり (飲んだり) すん (の) だけ 年寄りや (は) えらい (よく) します。ワカイン言うのは 徴兵検査行く迄 ワカイン や (です)。十七、八の野暮力言うて。昔や (は) 徴兵検査い (へ) 行く迄ん (に) 結婚しよお たもん なあ、はたちん (二十才) になると 結婚しよ お ったもん (して居たので) たいがい なあ (大体に) そや よって (それだから) はたち (二十才) 迄な (が) ワカイン そや よって 二十一で嫁 すると (結婚すると) おくれ花 (後れ花) かよ二十一で 言われ お った の (言われて居たのです)。“十九で 立ち花 は たち で 見花 後れ花 か よ 二十一 は” 言うて十九な (が) 嫁入り 盛りで はたち や (二十才) 見頃で 二十一ん (に) になると 後れ花 や (です) 昔や (は)。ワカインは 男でも おなご (女) でも。

わかいしゅやど 若者の集合場所。寝泊まりもする。(志、尾)

わかがか 【名詞】若い嫁 [会話] ワカガ から (は) 働 き や (仕事は) せん ならん し (しなければいけない) し こお (子) に 乳 呉 れん ならん よって (呉れなければいけない) 腹 な (が) へる やんない (へるでしょう)。

わがかど (我門) 【名詞】自分の家。自分の家の前。

わががどでほえんいんなし【**俚諺**】内弁慶 自分の家では権力を振るって居るが外では、おとなしい者 [会話] 自分とこ(所)では えらっそおに(偉らそうに) しとるけど(しているが) ほかいて(行って) しゅっと しとる(している) 時ん(に) ワガ カドデ ホエン イン(犬) ナシヤ(だ) 言うて

わかき(若木)【**名詞**】若い木 転じて 若いこと 若い人 [会話] 新米味噌(今年し込んだ味噌) 食うと ワカキ わかみそ わかじよから言うて 若味噌食わんよおん(食べないように)

わかぎ(若氣)【**名詞**】若者の早やる無分別な考え

わかきわかみそわかじよから。**わかきわかみそわかじよ**たい【**俚諺**】未熟なるものの例 使用出来ない物 [会話] ワカキ、ワカミソ ワカジョタイ言うて、味噌の今年仕込んだ味噌 くうと(食べると) はな(糶) くそおて(くさくて) 旨ないやんない(でしょう)。そすと ワカジョタイ言うな(のは)若い二十代の所帯持った時の しんしょもちな(やりくりが) わりいて(悪くて) 所帯持つの(のが) 下手な(だ) 言う事や わい(です)。まあ はざん(駄目な) 事をなあ言うて あんの(有るのです)。ワカキ言うのは 若いもん(者)の事を言うのなあ(です)。

わがくちしぼって 自分の食べる物を節約して

わかご【**名詞**】若子 おさな子 乳児 [会話] ワカゴ くさい言うて、仕事な(が) とろい(遅い) 人を ワカゴクサイ言うて、おぶこい(幼い)のを、ワカゴクソオテ(くさくて) 言うて、いつもかも(いつも) 子供みたよな(のように) しとると(していると) ワカゴクサイ おなご(女) やなあ(だ) 言うて、仕事すんのも(するもの) 考えも無いし どんなど(下手だと) ワカゴクサイ おなごやなあ(だ) 言うてなあ、する事な(が) おぶこいと 子供みたよな(のような) 事よき(より) よおせんのを(出来ないのを)。

わかごくさい 1) 幼児の臭いがする 2) 子供じみている わかご参照

わかじじる【**名詞**】冷めたのを温めた味噌汁 [会話] ワカシジル言うのは 二度炊きした、冷めてたよって(ていったから) 沸かして(温めて) 飲め 言うやんない(言うでしょう)。そいな(そんな) 時ん(の) おな(のを) 二度炊ききん(の) のおをな(のをです) 旨ない。

わかず(沸)【**他サ五**】1) 賑やかにする 2) 水の温度を上げる。

わがた【**代名詞**】自分は、お前は 二人稱に用いる。わ

がと参照 [会話] あれせえ(しなさい)、此れしたれ(してやれ) 言うて、ワガタなんも(なにも) せんと(せずに) 人つこて(使って)

わがだけ 自分だけに 独り占め(南) [会話] 自分だけ言うの ワガダケ。ワガダケ言う人も有るしなあ、わがと(自分) ばっか(ばかり) 言うたりなあ、わがとばっか 偉そおに わがとばっか食うて(食べて) たら(とか) 言うてなあ。わが(自分) 言うのを、わがと言うてなあ。わがと(自分) ばっか 偉っそおん(偉そうに) あえん(あんなに) 言うて 言うてなあ。

わかつたてや 判りました。

わかつとる 知って居る。わかる。分る。解る。判る。物事の価値、意味などが理解出来る。はっきり物事が明になる。世情に通じ融通のきく考え方をする。[会話] 知つとる(て居る) 事を、ワカトル言うのなあ(のです)。そいなこた(そんな事は) 言わんてて(言わなくても) ワカトルラレ(て居る) 言うて。なんか(何が) おせごと(教事、注意) すると

わかて(若手)【**名詞**】1) 若い人。若くて元気のよい者。2) 集団の中で若い方の人 [会話] 1) ワカテばっかで(ばかりで) 言うて、若い衆ばっか(ばかり) しとるとなあ(していると) おおた ワカテ ばっかやなあ(ばかりだ)、花な(が) 咲いたよなあ(ようだ) 言うて 若い人ばっか(ばかり) 乗つとると(していると)。

わがと(我達)【**代名詞**】1) 自稱 自分 われ(志(越賀、浜島、鶴方、神明、志島、甲賀、国府)、鳥、一、上、阿、度、伊、北、南) 2) 他稱 お前 君(志(浜島))

わがとの 自分の(鳥(加茂)) [会話] わしな(私)の おや(のだ) 言うのを、ワガトン(の) のおや 言うぬ(言うのです) こや(これは) 私のもんや(物だ) 言うのを、こや(これは) ワガトノもんや 言うのな(です)。

わがとのもん【**名詞**】自分の物。

わがとばっか 自分ばかり。わがだけ参照

わかとみず【**名詞**】若水 元日の朝に始めて汲む水(志(越賀)、鳥(畔蛸)) [会話] ワカトミズは 除夜の鐘が鳴ってからする、鐘は合図に 井戸い(へ) 貰らいん(いに) いて(行って) 言うて 新しい年の 新しい水 言う事やなあ(です)。

わがとら【**代名詞**】自分達 お前達(志(布施田)、伊) [会話] ワガトラばっか(ばかり) 言うて ワガトラ ばっか あげん(あんなに) ひととこい(一ヶ所に)

寄って、おら (俺) は びんにしてとかなあ。ワガトラばっか 美味しいもん (物) 食うてとかなあ。自分の事も わがとや (だ) 言うくせん (のに)、人の事でもなあ ワガトラ ばっか 食うて まあ だれんも (誰にも) 呉れんと (呉れずに) 言うてなあ。

わがとらどおし【名詞】 1) 自分達 御互 2) お前達 仲間

わかなぎ【名詞】 鱒の幼魚 (志、鈴市、津、北)

わがね 自分の物だ [会話] こや (これは) のが (お前の物) やなあ (だ)、おや (俺は) ワガネ おもて (思っ) 入れ込んで来たや (入れて来た) のがや なあ。

わがみ (吾身)【名詞】 1) 自分の体 2) 自分 わがみ い参照 (松、上、阿、伊、南)

わがみ【代名詞】 貴方 (志、鳥、度)

わがみ。わがみい【名詞】 血分の血縁 自分の仲間 身内 [会話] ワガミ 抓って 人の痛さを知れ言うてなあ ワガミ一番、かか (妻) 二番 親は 終いのしんのけつ (尻の穴) 言うて。ワガミばっか (ばかり) かおおて (可愛くて) 言うてな、わが (自分) 体ばっか 大事にするとなあ、ワガミばっか いたわって、人ばな (を) 石使うよおん (ように) つこて (使っ) 言うて。ワガミ言うて 自分だけやなしん (でなしに) 家族言うのも ワガミばっか 大事にして 言うて わが味方のもん (者) ばっか、ちい (血) のついとる (連なっている) もん (者) ばっか 言うのを ワガミばっか 言うて、ワガミばっか よおで (招待して)、ととな (夫の) 味方なんも (少しも) 呼ばんと (招待せずに) 言うて。

わかみず (若水)【名詞】 元旦の朝最初に汲んだ水。わかみず。神に供え、飯を炊き、雑煮を作り、茶を沸かすのに用いる。

わがみをほめるあんぼんたん【俚諺】 自分を誉める者は馬鹿だ。自慢高慢馬鹿のうち。

わかみそ (若味噌)【名詞】 完全に成熟していない味噌 [会話] 三月 (みいつき) 位すると だいぶ (大部) なれて来て (熟して来て)、食お (食べてよう) 思や (思えば) 食われるけど (食べられるか)、そやけど (しかし) はな臭い (糶の臭いがする)。そやよって (だから) ワカミソ 食わんよおん (食べないよう)に 言うて ひねから (旧いから)。

わかもん【名詞】 若者。若い人。わかもの訛

わがもん【名詞】 自分の物

わかやぐ【自ガ五】 若くなる。若い者のようになる。

(南)

わかやせん 判らない (志)

わがら (我達)【代名詞】 1) 自称複数 私ども 私たち (志、北、尾、熊、南) 2) 他稱複数 お前達 (志 (浜島)、鳥、北、南) [会話] 1) ワガラ言うのは わしら (私達)、わがとらげな (自分の家が) 言うのな。ワガラ ゲ 言うてなあ。私家言うのを、ワガラ ゲ 言うてなあ。わがとら (自分達) ばっか (ばかり) 言うのを ワガラばっか 言うてなあ

わからかす 分ける。分配する。[会話] 二つん (に) ワカラカスのをなあ、きさいたた (破ってしまった) 言うて。

わからずや【名詞】 理屈を言うて人を困らせる人。頑固者。物の道理の分からない者。

わからせん 判りません 判らない [会話] かいだりて (倦るくて) かいだりて なつと (なんと) あんねやら (有るのか) ワカラセン言うて。

わからせんか。わからせんかい。わからせんかな 判りませんか

わからせんわい。わからせんわな (女性語)。わからせんわら。わからせんわれ 判りません

わからん 判らない

わからんこと【名詞】 変なこと 無茶なこと (阿、鈴市) [会話] ワカラんコトばか (ばかり) やれ (だ) 言うて。なんも (少しも) 知らんと (知らない)、おらな (私の) ワカラんコト ばっかやなあ (だ) 言うて。無茶苦茶言うたりすると、わからん人やなあ (だ) ワカラんサン (わからん屋) やなあ (だ) 言うて なんも (少しも) 人の言う事 聞かんと (聞かずに) わがとな (自分の) 理屈 ばっか 言うて、あや (彼は) ワカラんサンで わがと (自分) ばっか ええ (よい) よおん (ように) 言うやんかい (言います)。

わからんさん【名詞】 自己を主張し、他人の言を聞き入れない人。わからんこと参照

わかりぬくい 判りにくい (熊)

わかりのくい 判りにくい [会話] わかりのくい 言う事を、ワカリノクイ言うの (のです)。おら (俺は) そいな (そんな) ワカリノクウテナ、めえやせんし (見えないし) もっと 明るう (く) してくれまあ (して下さい) 言うて、おらな (私が) 判るよおん (ように) してくれまあ (して下さい) 言うたりなあ。あの人な (の) 言うこた (事は) 難して (しくて) ワカリノクイわれ (です) おら (俺は)、言うてな。判りにくい 言うのを ワカリノクイわい (です) 言うてな。

わかれ (別) 【名詞】 1) 別れる 生別 死別 2) 分家 (志 (船越、鶴方、神明、志島、甲賀、国府)、四、上、阿、南、熊) [会話] 1) ワカレ あのひとと一緒に (に) なっとたや (なつて居たら) ワカレタンテワレ (別れたそうだ) 言うて。今日は他所行くので、ワカレやよつて (だから) おおてこな (会つて来なければ) 言う時も有るしなあ (有ります)。そして 情夫と情婦と喧嘩してワカレタンテナイ 言うのも有るし (有ります)。夫婦でも 死なれると ワカレタンテワレ 言うやんかい (言います)。2) 分家をワカレ (分) 隠居 本屋、弟も 家 建てて ワカレサセナ (させなければ) はざんわれ (いけない) 言うて。あすこのワカレやんかあ (だ) 分家の事を わけやんかあ あしこ (あすこ) の 言うて、あやなあ (あれは) あの家のワカレやれ (だ) 言うて わけ言うの (のです)。

わかれが (別敷) 九月頃の蚊 秋のワカレガ

わかればなし (別話) 【名詞】 夫婦が離婚するのについての話

わかれみち (分道) 【名詞】 三叉路 (飯)、十字路 [会話] ワカレミチ、あっちゃい (あちらへ) 行け、こっちゃい (こちらへ) 行け 別れとんのな (別れているのです) 道な (が)。ワカレミチ 言うと三つ角や (だ) とか、四つ角や (だ) とかなあ わかれてくの を (て行くのを) ワカレミチな (が) よけ (沢山) 有つて 判らせんのなあ (判らない) 言う時も有るやんかい (有ります)。十路地や 言うのを 四つ角や (だ) 言うて 三つとこわ (所は) 三つ角や (だ) 言うて。

わかれめ (分目) 【名詞】 物事の分れるところ。境目。どちらになるかの境目 われめ

わかれる (別) 【自ラ下一】 1) 死別する 2) 離婚する 3) 分家する (志)

わかろかい。わかろかな (女性語)。わかろかれ 判らない。判りません。(北) [会話] 判りません言うのを ワカロカレ そいな (そんな) 事言うたてて (言つても) ワカロカレ 言うてなあ、わからせんわれ (です) 言うたり。

わき (脇) 【名詞】 1) 外、端、へり、縁 2) 腋 腕のつけ根の下部 3) 傍、横 4) 第三者 [会話] 2) ワキ 脇の下 こちよこちよや 言うて。そや (それ) こちよこちよも、えごつと (十分に) あろとけ (洗つておけ) 言うて。1) ワキい (に) 置いとけ (ておけ) 脇見すんな (するな) 言うて。脇見せんと (せ

ずに) まつすぐん (に) 歩かぬ (なければ) はざんわれ (いけない) 言うて。3) ワキ言う時 近く、側へ、此れ ワキい (に) のけとけまあ (のけておきなさい) 邪魔ん (に) なんのん (なるのに) 言うて、横い (へ) のけとけ 言うのを、ワキい (へ) のけとけまあ 言うて。1) ふち (縁) も そおや (そうです)。そや、その ワキい (へ) 置いとけ (ておけ) 言うて ふちでも 後ろでも 横でも のけんのを (のけるのを)。

わきご 【名詞】 わきが 腋臭 古くはアリカ (有臭)。腋下に分泌される、汗の、悪臭有るもの (志 (浜島、国府、片田、鶴方)、度) [会話] わきが (腋臭)。ワキゴ。ワキゴ臭い言うなあ (言います)。わきが 言わんで (言わなくて) ワキゴ くそおて (臭くて) すかんなあ (嫌だ)。

わきごくさい 【形容詞】 腋臭の臭いがする。

わきばら 【名詞】 横腹。腹の側部。

わきまえ (わきまへ) (弁) 【名詞】 よく見わかること。

認識すること。心得ること。心得。分別。[会話] なんも (少しも) ワキマエんと (ずに)、ワキマエも知らんね (のだ) 言うて。行儀作法知らん 言う事や (です)。ええ (よい) わり (悪い) のワキマエも つけんと (つけずに) なんの (少しの) ワキマエも あんねなし (有るので無くて) あんななあ (彼が)、むとお (無法) なねよつてん (なのだから) 言うて。

わきまえる (わきまへる) (弁) 【他ア下一】 理解する 分別する よく判断して行動する [会話] ワキマエル。ワキマエな (が) のおて (無くて) 言うて、あと (後) さき (前) ワキマエんと (考えずに) 喋つて言うて 後先考えんと (考えずに) 言う事やるなあ (でしょう)。子供らな (が) 言う事聞かへんのも (ないのも) ワキマエな (が) のおて 言うて。言う事聞かず 言うし (言います)、喋るにぎや (人間は) 後先ワキマエント あいな (あんな) 人な (が) おるとこで (所で) あげんして (あんなにして) 喋つて なんの (少しの) ワキマエも 無いね (無いのだ)、どこでも あげんして、だな (誰が) おるとこ (居る所) でも 喋つて言うて。なんも (少しも) ワキマエな (が) つかんうちから (つかない間に) 嫁ん (に) いて (行つて) 言うて、若いうちん (間に) 嫁ん (に) 行くと。西も東も判らんうちん なんも (少しも) けんとな (見当が) 判らんうちん 嫁ん (に) いて (行つて) 言うて、昔や (は) 早よ (く) 行く人な (が) 有つて。

わきみち (脇道) 【名詞】 1) 横道 主要な道路以外の道

抜け道 間道 2) 道草 3) 正しくない方向 [会話] 1) ワキミチい (に) それてたやんか (ていったでないか) 言うの (のです)。真っ直ぐん (に) 行きや (行けば) ええのん (よいのに)、こっちや (こちら) むいて 曲がってくと (て行くと)、あや (彼は) ワキミチ それてたれ (外れていった) あすこ 通らまい 言うて言うたりなあ、3) にげ (人間) でも 筋の通った事すると ええんけど (よいが) まあ ワキミチ それてて 言うて、心でも言うのな (が) 有るやんかい (有ります)。行いでもなあ 正しい行い せんと (せずに) すると ワキミチ いたてまあ (行ってしまつて) 言うて。話しとでも (していても) 本筋から それてくと (て行くと) ワキミチばっか 言うとてな あ (ていて) 言うて。本題は ほっといて (放っておいて) わきの事 言うて来る人な (が) 有るやんない (有るでしょう)。ワキミチ ばっか (ばかり) 言うとて (言っていて) ほんとの (本当の) こた (事は) 一つも (少しも) 言わせんやんかなあ (言わないでないか) 言うて。

わきめ (傍目) 【名詞】 傍を見る事。横を見る事。

わきやく (脇役) 【名詞】 表だたないで補佐する役目、またその人。引き立て役。[会話] ワキヤク おぼやんな (小母さんが) 主役で、わしや (私は) ワキヤク やんない (でしょう)、こいな (の) (こんなのを) 言うやんない (の) (でしょう)。

わく (沸) 【自力五】 1) 大きな魚群 魚が群がり海面から飛び上がったり浮いたりする (南、熊) 2) 温まる 温度が上がる (潮なわく 田の水なわく) 3) 集まる 群がる 4) 騒ぐ。盛り上がる。5) あふれ出る 6) 発生する [会話] 2) ちゃあな (茶が) ワク、ごおな ワク (腹が立つ)、3) 虫な (が) ワク、蛔虫な (が) ワク、畑のもん (物) でも 虫な (が) ワク 言うて、便所へすごな (蛆が) ワク。1) 鯛な (が) わいた とりやま (鳥山、鳥の群) な 出たよってん (から) あや (あれば) 鯛な ワイタンナア (が群れたのだ)、せながな (むろ鯨が) ワイタンナア 言うて。じよおし (漁師) の人らな (が)。よけ (沢山) 集まって ばち やばちやと 跳ねてくんね (来るのです) ばちやばち やと しぎたたいて来るわい (来ます)。昔や (は) しらめな (が) ワク、しらめわきよ 言うて。虱言わんと (言わずに) しらめ 言うて。“蚕のしんがつ (四月) 蚊の五月、六月 蟬の鳴き別れ” 言うて。2) 潮な (が) 煮えて来たとか ワク 言うて、潮体 そんなり (そのまま) おると 日な (が) かんかん照って来る

と どいらい (大変) あつつう (暑く) なつて来て 潮な (が) ワイテ 来て あつついよお 言うて。海の潮が 温たこお (かく) なんねやなしん (なるのでなくて) 体いついとんのおな (付いて居るのが) 日光い (へ) 当ると ものすごお (ものすごく) 熱なつて 来て。そすと 潮な (が) 煮えて来たれ 言うて。2) そやけど (しかし) 海い いても (行つても) たか (陸) の方に ぼち (穴) みたよな (のような) とこな (処が) 有つて こか (此処は) 潮な ワイトラレ (わいて居る) 言うて。あたとおなつて (熱なつて居て) ぬきたいよお (温かい) 言うて、新し 潮な (海水が) 入つて来ん時や (来ない時は) ぬくとお して、ゆう (湯) みたいん (のように) しとんの (して居るのです)。そこい (へ) 入つてぬくとまつたりしよ おつたなあ (温まつたりして居ました) 田の水な (が) ワイトル。言うんなあ (言うのです)、水な (が) あつつう (熱く) なつて ワイトラレ (わいて居る) 言うて。

わく (粹) 【名詞】 周囲と隔てるもの 囲い [会話] ワク 組んで言うて、なんやかや (いろいろ) の形を こさえんの (作るのを) を ワク 組む 言うてなあ。型 こしらえとけ (ておけ) 言うの (のです)。ワク 組ん どげよお (でおけ) 言うてなあ。にげ (人間) でも 一塊ん (に) なつとんのも (なっているのも) ワクん (に) なつとて (ていて) 言うやんかい (言うで有りませんか)、ワク組んどて (ていて) おらな (俺が) いたてて (行つても) 相手ん (に) しやせん (しない) 言うてなあ。

わぐいち 【名詞】 和具で一番の物、者。

わくすべり 【名詞】 舟を浜に引き上げたり 海に下ろしたりする時、舟の下の敷く丸太を二本組んで両端を別々の木で止め、粹にしたもの すべり参照 [会話] すべり は丸太と、両端に粹な (が) ついとる (ついている) 四角ん (に) なつとる (なっている)。おっきい (大きい) 舟を曳く時や (は) ワクスベリやない (と) (でない) 丸太は砂へ ずり込んでく (めり込んで行くのです)。

わぐのおなごと しおさいふぐは いかんとかないどこまでも 【俚諺】 和具の女の出嫁ぎを表す語 [会話] 和具のおなご (女) は いしえ (伊勢) 行ても (行つても)、四日市 行ても 東京や、大阪い (へ) 行ても、よけ (沢山) おるもんでなあ (居るので)、しおさいふ ぐと一緒で しおさいふぐは何処ん (に) でも おるやんない (居るでしょう)、そやもんで (それで) それ

ん(に) 例えて言うね(言うのです)。あきやたら(秋の収穫) ちゃやま(茶摘み) やたら(だとか) 四日市行く人もあや(有れば) 河芸郡の方に行く人もあや名古屋の方へ行く人も有るし 伊豆行くもん(者)でもあや 太地行く もん(者)も 朝鮮行くもん(者)も有るして、しおさいふぐと一緒に、何処ん(に)でもおる 言うて、そやもんで(それで) しおさいふぐん(に) 例えてあんね(有るのです)。

わぐむ【他マ五】 浮腫 はれたようで使用が思うように出来ない感じにはれる。[会話] てえな(手が) ワグム 手な(が) ひれる(しびれる)。手な(が) ごわごわと はれたのおを(のを) 掴むような感じがして 掴みのくうて(掴みぬくくて) 手な(が) ワグム。綱引きしたり 重たいもん(物)を ぎゅうぎゅうあげたりすると 後で手な(が) ワグデ(わぐんで) はれとらんども(て居なくても) 力仕事した後は わぐわぐと。ワグム言うな(のは) 力仕事した後で、手な(が) なんか物 掴んどる(で居る) よおな感じな(が) して 手な(が) わぐわぐすんねよお(するのだ) 言うて。

わけ【名詞】 分、分家 [会話] ワケ言うとな家。

わけ【訳】【名詞】 1) いいわけ 申し訳 理故 2) 理屈 [会話] ① ワケ(訳) 言うて イイワケ、其のワケも 言わんと(言わずに) 言うて、ワケ、言わな(なければ) はざんわれ(いけない) 言うて、話のいわく(理)を 知らんと(知わずに) おると、ワケも 言わんと 言うて、ワケも、言わんと いきなり(急に) 撲られたとか、ワケも言わんと いきなり 来たとか 言うて。あやまあ(彼は) ワケの判らん人やなあ(だ) 言うて 言うなあ(言います)。

わけありのこ【名詞】 1) 私生児 特に婚前に生んだ私生児を両親にあずけ他家に婚した女性の子供。 2) 後妻に育てられた子供。[会話] ① あや(彼は) わけありやれ(だ) 言うて ててごなし(父無し子)を ワケアリノコや(だ) 言うて。② わけ有る親ん(に) 育てられて言うて、後妻ん(に) かかると 言うやんかい(言います) わけ 有る親ん(に) 育てられとんね(ているのだ) よって(から) あや(彼は) 苦労しとられ(している) 言うてなあ。

わけぎ【分葱】【名詞】 ひとつもじ 葱の一種やや小さいユリ科の多年草ネギの変種、鱗茎は長卵円状で赤褐色の外皮に覆われる、葉はネギより細く叢生株分けて繁殖、葉を食用とする(志(鶴方)、北) [会話] ワケギ 一文字

わけしり【訳知】【名詞】 世間の事情をよく知っていること又その人。ワケは其の道を味をよく、わかまえたる義(大言海) [会話] なんでも(すべて) 知つとる(ている) 人を 言うんかい(言うのですか) ワケシリ 言うて、もの知りとも言うんかい。世間の事よお(よく) 知つとる(ている) もの知りやなあ(だ) 言うね(言うのです)。

わけしろ【名詞】 分配した一人の取り分 配分すること [会話] ごおな(量が) よけ(沢山) 有る ほお 貰らわな(なければ) 言うて ワケシろすると

わけて【別】【副詞】 1) わける 2) 言い訳をする 3) 詳しく説明する 4) こと更に [会話] ① ワケテ 言や(言えば) 口答えん(に) 当るし

わけてくれえ 売って下さい。譲って下さい。(志(布施田))

わけてもらう 譲って貰う [会話] ワケテモラエヤシエンカイ(もらえませんか)、などしても(どうしても) そんな(それが) 欲しね(欲しいのです)

わけてもらえ 譲って貰え [会話] なんやかや(いろいろ) 買うのをなあ、ワケテモラエ 言うてなあ。あんたげ(貴方の家) 芋な(が) よけ(沢山) 無いかい(有りませんか) ワケテクレヤ(くれれば) ええわい(よいのに) 言うて、売ってくれやええ 言うてのを ワケテ クレヤエエワイ 言うてなあ。米もないかい(有りませんか) てや(と言えば) 米も、わけてくれえ(下さい) 言うて、売って下さい 言うてのをなあ ワケテモラエ。

わけてもおた。わけてもろた 1) 譲ってもらった 2) 買った

わけどり【分取】【名詞】 分けて各自に取る事。

わけない【形容詞】 簡単だ。

わけなし【名詞】【形容詞】 簡単な事。わけもない参照

わけまい【名詞】 分け前、分けて取る取り分 自分の取り高 [会話] ワケマイ もろて(貰って) 言うて、仲間商売(共同仕事) しとると(していると) ワケマイな(が) すけのおて(少なくて) 言うて、そして ワケマイ もろたけど(貰ったが) 皆 つこた(使ってしまった) てやら(とか) 言うてなあ。財産売って、ワケマイもろた(貰った) てやら(とか) 言うて、商売して なかまん(共同に) しといて(しておい) て ワケマイ 貰うのも有るし、なんか(何か) 物売って 兄弟中な(が) 分けん(る) のも 有るし。ワケマイで 喧嘩して 言うて、よお言うやんかい(よく言います)。

わけめ (分目) 【名詞】 境界 区別をつけた所 さかいめ
[会話] 天下分目。なんでも (なににでも) 分けるもな
なあ (物は) さいめん せせて (とり込んで) 言う
て わけん (る) のん (に) おんなん (俺のの) な
(が) 多いたら (とか) すけないたら (少ないとか)
言うて、ワケメせせて (争って) 言うて、よお (よ
く) 言うやんかい (言います)。あんな (彼は) よけ
(多く) 行たてやら (とか) あんなな (彼ののが) よ
かったてやら言うて しなもん (品物) でもなあおい
(多い) とか すけないとか 言うてなあ せせん
(争う) のな (のが) 有るし、さいめん (土地の境)
こつく (つづく) 人も有るし。

わけもない 【形容詞】 1) 簡単だ 造作ない (多、上、
阿、張、名) 2) 無茶な事。途方もない。[会話]
1) そいな (そんな) こた (事は) ワケモナイワ おん
な (俺が) したるわ (してやる) 言うて 簡単やれ
(だ) そいなもん (そんなもの) おんな (俺が) ちよ
いちよい したられ (してやる) 言うて 簡単になあ。

わけやけど わけだけれども、そんなのだが

わけやない 簡単だ (阿、張、名)

わける 【他カ下一】 分別する。

わける 【他カ下一】 言い訳をする くちごたへ参照

わけわからず 【名詞】 道理のわからない者 無法者 [会
話] あんななあ (彼ののは) ワケワカラズ やよって
(だから)、目茶苦茶やどお (だ) 言うて、理屈に合わ
ん (ぬ) 事言うど。道理の合わん (ぬ) 事 言うたり
(言ったり)。

わごえ (輪肥) 【名詞】 作物より少しはなれて円状に取り
囲んで施肥肥料 [会話] なんやかや (いろいろ) 植
えといて (ておいて) ワゴエする言うて、物 植える
やんない (でしょう)、そすと (すると) あんまり (あ
まり) ねえ (根) え (に) すると 直接すると ねえ
な (根が) 傷むもんで (ので) ワゴエにする 言うの
なあ (です)。ふちい (縁に) ぐるぐるとする言うの
(のです) ワゴエ。ワゴエしとかな (しておかなけれ
ば) はざんわい (いけません) あんまり (あまり) 直接やると 枯れてくよって (て行くから) 言うて 西
瓜でも。

わごむ はれる はれて手、指などが動かし難くなる
[会話] てえな (手が) ワゴム。今日は潮な (が) つ
めとお (冷たくて) てえな (手が) ワゴて言うて、
磯おりて (海に入つて) てえ (手) な (が) わぐで
てやら (とか) 言うてなあ、長い事 入つると (て
いると) てえな (手が) 覚な無いよん (ように) なつ

てくの (て行くのを) ワゴム言うの (のです)。力仕事
しても 寝とても (ていても) てえな (手が) わぐで。

わざ (業) 【名詞】 1) 害を及ぼす事 災い たり (志、
阿、張) 2) 得意とする技術 3) いたづら [会話]
ワザ。わざとに (故意に) あいな (あんな) 事して
言うたり、1) ワザしておこして言うたり。2) 仕事でも
なんでもよお (よく) すると、あのひた (人は) ワザ
な (が) 有つて 言うやんかな (言います)。得意な
仕事よお (よく) すると あのひた (人は) ワザな
有つて、1) わり (悪いと) 事しても あのシワザ 見
よまあ (見なさい) 言うて。した仕事な (が) わりと
あのした、ざま、見よまあとか、ワザ見よまあとか。
ええ時 (よい時) も あのひた (人は) ええワザな有
んね (よい技術を持って居るのだ) 言うて、3) わり事
すんのも (するの) ワザして言うし (言います)、ワ
ザトん (に) あいな事すんね (あんな事するのだ) 言
うたり、此の頃は、狸な (が) 畑い (へ) 出て来て、
ワザしてまあ言うて。

わざし (業師) 【名詞】 1) 策略家 術策を用いるのに巧
みな人 2) 人の嫌がる事をする人。[会話] 2) わざ
する言うて あんた (貴方) のとこい (所へ) なん
やかや (いろいろ) ほつたり 汚いもん (物) ほりん
(に) いたり (行つたり) すんの (するのを) わざし
てまあ あいらな (彼等が) 言うて。 わり (悪い)
事 すんのなあ (するのです)。まあ わざん (悪戯
に) おれげい (俺の家に) なんやかや (いろいろ) 放
りん (に) 来て あいらな (彼等が) わざして 言う
て。なんやかや (いろいろ) 人の嫌な事すんの (する
のを) ワザん言うの (のです)。

わざする 1) 悪戯をする 2) 害をする (志 (布施
田)) [会話] 1) ワザスル言うてなあ、よばいしな
(が) 来ると しょんべたご (小便壺) い (に) なん
か (なにか) 放り込んでたり (行つたり)、大戸口い
(に) 樋さんがらかして (吊るして) 出て来ると ご
んとするよん (ように) ワザスル。

わざと (態と) 【副詞】 自然に又は偶然そうなるのでなく
故意に。[会話] ワザトん (に) あいな (あんな) 事
すんね (するのだ) 言うて、悪り事すると 知つとて
(て居て) すんのを (するのを) ワザト言うのなあ
(のです)。知つとても (て居て) 悪り事すると ワ
ザトん あげな (あんな) 事すんね (するのだ) とか
ワザトん (に) あいな 怒らかず (怒らす) よおな事
言うて 言うなあ (言います)。知つとて (ていて) す
る事を、ワザト言うのなあ (言うのです)。

わざとらし (態) 【形容詞】 いかにも意識的な感じで不自然である。わざとがまし。

わざとん 意識して害をする。わざと参照 (志 (布施田))

わざに。わざん 【副詞】 ことさら わざと わざわざ (鳥 (相差)) [会話] ワザニとか、意地わり (悪い) とか言うてな、なんやかや (いろいろ) 人のいやがる事 えって (選んで) すると、ワザン あんげな (あんな) 事 すんね (するのだ) 言うてな 嫌がるの (のを) 知っておって (居て) すんね (するのです)。

わざばっかして 悪戯ばかりして

わざわいもさんねんたちちやよおにたつ 【俚諺】 不要と思われるものでも長い年月の間には必要になる事がある。[会話] なんでもなあ いなん (要らない) おもとでも (思っけても) 三年も経つあいこや (間には) その内に また 要る事な (が) 出来ても来る 言う事 やわい (です)。出来てくんでや (来るのです) 又なあ、おおた、此れも ほつたらんで (捨てなくて) よかったなあ、ほつたらんと (捨てずに) 置いといて (ておいて) 間に おおたない (あつた) 言うて。

わさわさ 【副詞】 皮膚の感じ。ざわめく感じ。

わし 【代名詞】 自分 私ワタクシ、ワタシの略。(大言海) ワタシの約 (広辞苑) (志 (磯部 布施田、波切)、鳥、桑市、員、鈴市、三、四、安、津、一、久、飯、松、多、阿、張、伊、北、南、熊)

わしが 自分の物 [会話] ワシガ言うて、わがと (自分の) そや (それは) ワシガ やんなあ (です)、あんた (貴方) 言うてな、おんな (俺の) のおや (のだ) 言うのを、ワシガやんなあ 言うて。そや (それは) そおやないね (そうで無いのだ) おれがやどお (俺のだぞ) 言うて、おれが (俺の物だ) やとか (た)、ワシガやとか言うて。

わしかて 私でも (志) [会話] 私やてて (でも) 言うのを、ワシカテ言うて、わしだつて 言うのを ワシカテ、ワシカテするわい (します) そいな (そんな) こた (事は)。ワシカテ そいなこた言うわい (言います) 言うてな、わしやてて (私でも) 言うしなあ、わしやてて そいなこた言うわい とか、よおするわい (よくします) とか言うてな ててや (だ) 言うね (言うのです)

わしがん 私の物

わしげ 【名詞】 私の家 (志 (御座、浜島、鶴方、神明、立神)、鳥 (答志)、度) [会話] ワシゲの あの子な なあ (が) 言うて、わが (我) 家の事をワシゲや

(だ) 言うて、昔の言葉、おれげ (俺家) の なれ (です) あの子ななれ (が) 言うて、おらげ (俺家) とか おれげ 言うて、のげ (お前の家) やたら (とか) 言うて。ワシゲは 自分の家で ワシゲの言うて 自分の家の子供とか娘とか言うんなし (言うのです)、あがみげ (貴方の家) 言うて 人の家 ワシゲんのおや 言う時は 私とこ (所) の 家のもんや (物だ)、ワシゲんのおやけど (のだが) お前家な (が) もてた ね (持って行つたのだ)、あんた (貴方) そんげん (そんなに) 言うけど (けれど) こや (此は) ワシゲんね んなあ (のものだ) 言うて、喧嘩したり。そんでも (それでも) ワシゲん (に) 有るもん (から) ワシゲん (に) ねえやわい (のです) 言うて、俺家んねえや つたのん (の物だったのに)、なして (どうして) のげ (お前の家) い (に) 持てたんど (持って行つたのだ) そんでも (それでも) 俺家ん (に) 有るもん (から) 俺家んねえやれ (の物だ) 言うて。

わしげの 私の家の

わしげのやろ 【名詞】 私の家の子供

わしげんの 私家の物

わしとこ 【名詞】 私の所 私の家 (志 (国府、片田、浜島)、鳥) [会話] ワシトコ。お前とこ (所) 言うて、わしげ (私の家) 言うのを、ワシトコ言うて。あんた とこ (貴方の所) 言うの、あんたげななあ (貴方の家が) 言うて、わしげななあ (私の家が) 言うて。

わしとこのうち 【名詞】 私の家 (阿) [会話] わしげ (私の家) の家言うのを ワシトコノウチ 言うて。

わしとこのひと 【名詞】 夫 (北)

わしな 1) 私の。ワシナもん (度) 2) 私が ワシナしたるわい (鳥)

わしなもん 【名詞】 私の物

わしや 私は (志、鳥、北、南) [会話] ワシヤ そいな (そんな) 事 よおせんわい (出来ません) 言うて、ワシヤ 言うんなあ (言うのです)。わしは (私は) 言うの (のを) ワシヤ言うてなあ。

わしやつく 落ちつかない [会話] ワシヤツイテまあ 言うて そわそわしとる (して居る) 事なあ (です)。ワシヤワシヤと ひとつも (少しも) 落ち着きな (が) 無いね (のだ) 言うて、しらめ (風) な (が) 這うおよん (に) ワシヤワシヤして言うて。ごそごそ すんのも (するもの) よお (よく) 似とる (て居る) 事やわい (です)。ワシヤワシヤすんのも (するもの) やんない (でしょう)。しらめ な (が) 這うよおん ワシヤワシヤ すんので (するのです) そわそわと、あ

つちや (彼処) い (へ) いてな (行つては) もしよも
しよするにげな (人間が) 有ると べつんも (特別
に) かせわし (忙しい) よおな、ワジャワジャと さ
おがしなあ (喧がしい) 言うて。

わしやてて 私でも。わしかて参照

わしやわしや 【副詞】 落ち着きのないさま。わしやつく
参照

わじよ (我丈) 【代名詞】 汝 お前 君 わじよう (我丈、
和丈、わぢやう) の末尾省略 (志 (磯部、甲賀、国府)、
鳥 (国崎)、一、飯、松、多、度、伊、北、南) [会話]
ワジョ 言うて、ワジョゲから もろて来たねよお
(貰つて来たのです) 言うて よお言うやんかい (よ
く言います) 男の人ら。

わじよげ 【名詞】 お前の家 わじよ参照 (志)

わじよら 【代名詞】 お前達 (志、鳥、松、多、度、伊)

わしら 【代名詞】 自称 わたし (志、桑郡、安、北、熊
野地方) [会話] わしや ワシラも 一緒や (です)
わたしやなあ (私は) 言う事を、わしやなあ 言うて
な、わたしわなあ (私は) 言う時も有るし。ワシラわ
言うと、みんなん (全部) のおを (のを) 言うし わ
しや 言うと一人の事を言うし。

わしらとこ 【名詞】 私の処。私の家。

わしわし 【名詞】 【形容詞】 這う事。

わしんとこ 私の所 私の家 (志 (神明、鶴方)) [会話]
俺家言うのを ワシントコ、俺家の言うて わたしげ
(私の家) 言うて

わづらい (わづらひ) (煩) 【名詞】 病気 やまい [会
話] 病む事をなあ。病気することをワズライ。ワズロ
トシネてわれ (わづらっているようだ) まあ あの家
や (は) 長い事言うて。まあ 何年もワズロトシネ
(病んで居る) 言うてなあ 病気しとるとなあ (して
いると)

わづらう (わづらふ) (煩患) 【自ワ五】 病気をしている
病気になる [会話] ワズラウ 言うのは 病気する
言う事

わづらかしとる 世話をかけている。面倒をかけて居る。

わづらかず (忘) 【他サ五】 忘れる (志 (甲賀))

わづらかず 【他サ五】 苦しい思いをさせる 面倒をかけ
る 世話をやかせる [会話] てえ (手) ワズラカス。
おらな (俺の) 仕事の邪魔して言う事をなあ。てえ
(手) わざらわして 言うて、面倒かけるとか

わづらかすな 面倒をかけるな [会話] ワズラカスナ
言うのは 面倒かけるな言う事や。面倒かけんな (か
けるな) おらな (俺が) またそれ せんならんのん

(しなければいけないのに) 言うて。ワズラワカスナ
言う時も 有るんなあ (有ります)。ワズラカスナマア
よけ (あまり) 言うて。

わづらす 煩わす

わづらわかすな 面倒をかけるな。わづらかすな参照

わづらわし (わづらはし) 【形容詞】 面倒だ。嫌だ。厄介
だ。[会話] わづらわしい 言う事 好かんわれ (嫌
だ) 言うね (言うのです)。すかん事や (とか) 嫌やな
事や (です) いややれ (いやです) 言う事をなあ ワ
ズラワシ 言うて来てなあ (です)。ワズラワシなあ
あの人な (が) 言う事、言うて、あの人な (が) 言う
事、嫌いやわ (だ) 思うのをなあ めんどくさい (面
倒くさい) のを ワズラワシ 言うて、めんどくさい
のん (面倒くさいのに) 言うと ワズラワシのん ま
あ 言うよおな 事やなあ (です)。

わづらわしがる (わづらはしがる) (煩) 【自ラ五】 面倒
がる。うるさく思う。

わづらわす (わづらはす) (煩) 【他サ五】 面倒をかける。
苦労をかける。わづらわかす。

わすれたる 1) 忘れる 2) 忘れてしまう (志 (神明、
立神、甲賀、国府))

わすれたるんや 1) 忘れてしまえ (南) 2) 忘れるの
です

わすれどき (忘時) 【名詞】 忘れた頃 長い間 [会話]
台風は ワスレドキン (に) やつて来る。誰でも ワ
スレドキ ワスレドキン (に) そげん (そんなに) 言
うて くんねない (来るのだ) 言うて。なんか (何
か) ひよかつとした事言うて、まあ そいな (そん
な) 事、忘れとんののおを (ているのを) ワスレドキン
(に) そいな事 言うて来て 言うてなあ。

わすれもん 【名詞】 忘れた物 [会話] ワスレモン し
といて (しておいて) 来たよお (来ました) 言うねや
わい (言うのです)。忘れ物 言うのを ワスレモン。

わすれやせん 忘れない [会話] 嬉し事でも、悲しい
事でも有ると そいなこた (そんな事は) ワスレヤセ
ンやんない (でしょう)

わづるとる 病気をしている。

わづるとんね 病気をして居るのだ。

わた (臓腸) 【名詞】 動物や魚などの内臓 [会話] ごお
なわいて (腹が立って) ハラワタな (が) よれてたな
い (振れて行った) 言うて おかして (面白くて) ハ
ラワタよつたてやら (とか)、わろて (笑つて) ハラワ
タよつたよお (振ってしまった) 言うやんかい (言う
て有りませんか)。魚のワタ 抜いとけ (ておけ) 言う

て、腹ん (の) 中ん (に) 入っとる (て居る) 臓物を。さいら (秋刀魚) の ワタジョオカラ (塩辛) やてやら (とか) 魚のワタを抜いて。冷蔵庫い (へ) 入れる時や (は) ワタ抜いとかな (ておかなければ) 傷んでかれ (いたんで行く) 言うて。海鼠のゾオワタ (内臓) 腹ワタ 海鼠のハラワタ美味しいけどなあ (です)。ワタ言うと、魚のハラワタやとか (だとか) にげ (人間) のハラワタやとか (だとか)。

わたい (話題) 【名詞】 噂 評判 [会話] 話の種。 そいな (そんな) 事言うたら ええ (よい) ワダイん (に) なんね (なるのだ) まあ 和具中の ワダイやれ (だ) そや (それは) 言うやんかい (言います)。噂とか評判になる 言う事をなあ 和具中の ワダイん (に) なられ (なるぞ) そいな 事 言うたら 言うて。

わたいれ (綿入) 【名詞】 着物の表地と裏地の間に綿を入れたもの (志 (畔名)) [会話] 綿な (が) いっとる (入っている) きもん (着物)。ワタイレも 着て ぬくとお (温かく) してかな (していかなければ) はざんわれ (いけない) 言うて。

わたがし 【名詞】 笠子。めばるの類の稱。黒色のもの。
わが参照 (志 (立神)、鳥 (国崎)、度、伊)

わたがし (綿菓子)。わたがしん 【名詞】 ざらめの濃い溶液を温めながら遠心分離器を利用し、細い穴から出し外気で冷やし糸状に結晶させ割箸などにまきつけた菓子 [会話] ワタガシん。 さと (砂糖) 吹かして ワタガシや (だ) 言うて、ふわふわん (に) なって ぼおん (棒に) しとるやんかい (しています)。ワタガシ言う 魚な (が) あんなあ (有ります)。

わたがせ 【名詞】 はくてんはた ハタ科の海鼠 体長30cm に達す。体は紫褐色で、大小の白色斑点が散在する。背鰭、臀鰭の軟条部、胸鰭などの後縁は白く縁取られる。

わたこ (綿子) 【名詞】 綿入れ半纏 綿の入った着物 (志、鳥 (石鏡)) [会話] 綿入れの事を ワタコや (だ)。ワタコもて来い (持って来い) 言うて。沖い (へ) 行くのん (に) ワタコもてかな (持って行かなければ) さぶうて (寒くて) こごえんど (凍えるぞ) 今日は秋のはがちやどお (だ) 言うて、秋ん (に) なると。秋のはがち言うと 秋はぬくたい (温かい) よおん (に) しとても (して居ても) 雨な (が) 降って来ると、さぶうて。綿 入っとる (て居る) もん (物) を ワタコ言うて、半纏やのおても (でなくても) なんでも、綿な (が) いっとるもん

(入って居る物) を ワタコや (だ) 言うて。

わたし (渡) 【名詞】 家を新築する時 費用を見積り大工に請け負わすこと。請負普請 受取普請 渡普請 [会話] ワタシ言うのは 大工さんに 皆 まかして (まかせて) するやんな (でしょう)

わたし 【名詞】 祝いの時、酒を注ぐ器。[会話] ワタシ言うな (のは) 結婚式ん (に) 使うのおな (のが)、ワタシ 言うやんかい (言います)、注ぐのを。酒な (が) 入っとる (て居る) 銚子の代りん (に) 注ぐやんない (でしょう) あれを、ワタシや (だ) 言うて ワタシも 出しとけよお (出しておきなさい) 言うて。しよんがつ (正月) になると その ワタシで 三福の一対の盃を しといて (しておいて) その ワタシで 酒注ぐので ワタシも出しとけよお言うて。鉄んのおい (のへ) ぷつぷつな (が) して あっかい (赤い) 蓋は うるしの塗りののおで (ので) して、銚子や (だ) 言うけど (が) 結婚式や目出度い時ん (に) すんの (するのは) ワタシで しよおつた (して居ました)。今しゃ (今は) じっばな (立派な) 塗ってあんの (あるの) つことるけど (使って居るが) 昔のこぶつん (古物の) なあ (のは) 鉄でこおして 上は じっばん (立派に) うるし塗りの蓋な (が) してあんの (あるのです)。それ ひろぶたい (へ) 出して。

わたし 【代名詞】 私 ワタクシの略 (大言海) (桑郡、三、鈴市、鈴郡、安、松、多、度)

わたしこ 【名詞】 私の家

わたしや 私は [会話] ワタシゃ言うと、私は 俺は 言う事なあ (を) ワタシゃ言うて、ワタシゃ どこそこい (へ) 行ってくんねよって (行って来るのだから) 後、頼むんなあ (頼みます) 言うて。

わたじよから 【名詞】 鯉 秋刀魚の内臓を塩辛にしたもの (志) [会話] さいら (秋刀魚) の 粒子 (卵巣) と、白子 (精巣) と しよから (塩辛) に漬けて、粒子をとて (取って) 来て ワタジョカラや 言うて

わたしら 私 私は (志) [会話] ワタシら言うのは、わたくしら おらな (俺達が) 言うねんなあ (言うのです)。

わたす 【他サ五】 渡す。漁獲物を市場へ売る。市場へ出す。 (志) [会話] ひとじよおげ (一航海) いて (行って)、魚 釣って、家へ ワタシん (に) 来んのを (来るのを) ひとじよおげ。

わたっしや。わたっしやお 【感動詞】 大変だ 困った [会話] 失敗したた (してしまった) 時に ワタシゃオ言うて 男の人な (が) よお (よく) 言うなあ

(言います) アタッシャヨオ言う人も有るし (有ります) 器量のわり (悪い) の見ると アタッシャヨオあの器量見よまあ (見なさい) 言うて、アタッシャヨオ、あやれ (あれ) てんでん (葬式) のしゃくし (杓子) みたよな (のような) 顔しとんない (して居る) 言うて てんでんのしゃくし、よお (よく) 言よおった (言っていました)。てんでんの杓子 どいらいのおな (大きいのが) 中な (が) へっこんどのおな (へこんで居るのが) 有るやんない (有るでしょう) あれを 例えて言うんやかなあ (言うのか) おもうわい (思います) てんでんの杓子みたよな顔しとんね (して居るのだ) ワタッシャヨオ 言うたり、いやれ (あやれ、あれ) かめ (肥壺) のふち (縁) の くわな芋 みたよな顔しとられ (して居る) てやら (とか) 言うて、かめ (肥壺) のふち (側) は こやし (肥料) を すうて (吸って) どいろお (大きく) なんねてや (なるのです)。

わたっちゃ。わたっちゃよお【感動詞】大変だ 困った [会話] ワタッシャヨオ 言うてなあ。がいな (大変) えげつない (ひどい) もん (物) 見ると、わたっしゃよお言うてなあ。器量のわりの (悪いのを) 見たり、びっくりすると、大変や (だ) 言うよおな時ん (に) ワタッシャヨオ 言うて。なんやら (なにか) びっくりした時んなあ (に) 男の人らな (が) よお (よく) 言うんかい (言います)、なんか (何か) 変な事したた (してしまった) 時んなあ (に) 変なもん (物) 見る時ん (に) わたっしゃよお言わんと (言わずに) タッシャヨオ 言う人らも あんのなあ (有るのです)。

わたぶ【名詞】 てんじくだい テンジクダイ科の海魚 全長8cm に達す。体は側扁した長楕円形。白っぽい淡灰色で、体側に約10個の淡褐色の横帯が有る。目と口が大きい。(志)

わたば【名詞】 ねんぶつだい テンジクダイ科の海魚 体長15cm 体は長楕円形で側扁する。目が大きく、下顎がやや突き出す。体色は桃赤色で、背方に黒色の縦線が有り、尾の基部に黒色斑点がある (志 (志島)、鳥、鈴市、熊)

わたばこり (綿埃)【名詞】 綿のように軽くて小さな埃 部屋の隅などにたまる埃 [会話] 紡積い (紡績工場) に行くとき ワタボコリで 真っ白ん (に) になって、そして 昼 食いん (に) 来るよおん (ように) になると、束子でこそげんね (こするのです)。ワタボコリで廊下の隅ん (に)、ふわふわの ごみな (が) たまんな

あ (たまるのです) ワタボコリな (が) 隅々になあ。

わたり【名詞】 行く事。来る事。

わたりあう (わたりあふ) (渡合)【自ワ五】 喧嘩して居る。争う。

わたりがに【名詞】 蟹 がざみ よく泳ぐので言う。

ワタリガニ科の大形の蟹。甲羅は横に幅広い菱形で甲長約7cm 甲幅 15cm 位 鉋は強大で最後の歩脚は扁平で遊泳脚となる。雄は青緑色、雌は暗紫色又は暗褐色。屋は砂泥にかくれ夜間に活動する。

わたりのおおがに【名詞】 たかあし蟹 たらば タラバガニ科の節足動物。甲幅は約 25cm で、脚を左右に伸ばすと、1.5m 位になるが雄は小さい。甲は丸味を帯びた三角形で H 字形のくぼみが有る。背面は暗紫色で、多くの棘が有る。鱧のとれる所に居るので、此の名が有る。カニと呼ばれるがヤドカリの仲間第五脚が小さく四対より無い様に見える [会話] ワタリノオオガニ 言うのは 北海やら (北海道とか) カムチャッカの方い (に) 行く人らな (が) あいなのを (あんなのを) 缶詰んなあ (に)、どいらい (大きい) がに (蟹) を大戸口い (に) 顔のあれを、ワタリノオオガニ言うね (言うのです)。顔の器量のわりと (悪いいと) ワタリノオオガニみたいななあ (のようだ) 言うんかい (言います)

わたりもん (渡者)【名詞】 1) 他国から渡って住みついた人 他国者 2) 乞食など各地を回り歩いている者 [会話] 1) 他処から来た人らを ワタリモンや (だ) よって (から) 言うてな ながれもん (流れ者) 言うたり、よそもん (他処者) 言うたりなあ

わたりやま (渡山)【名詞】 海を渡ってかみやま (山の木を薪にするのに買う事) をすること。[会話] 桧山路 (地名) の方も行きよった (行って居ました)。ワタリヤマヤ (渡り山) 言うて 迫子 (地名) 山を買おて そおすと (そうすると) 舟がなけなはざんけど (なけなけなけなけなけな) 漕、漕んで行かなはざんもんで (漕いで行かなけなけなけなけな) 迫子山迄 買いん (買いに) 行くと、そんだけ (それだけ) 安いけど そんで やんやん 言うて 迫子の浦へ迄 漕んでく と (漕いで行くと)、朝起きして行て よさり (夜) も はよおいて (早く終わって・仕舞) こなはざん (来なけなけなけなけな) 漕んで来なはざんよって (漕いで来なけなけなけなけな) 安いけど。

わたる (渉)【自ラ五】 通って来る。歩いて来る。(志) [会話] ワタル、橋ワタル。いくせ (幾世) の橋ワタル言うて。

わたんぼ【名詞】すずめだい スズメダイ科の海魚 全長 18cm 位になる。体色は紫黒色で。背部は後ろ方に一個乳白色の紋が有る。水から出ると消える。

わっかい【形容詞】若い (津、伊)

わっしゃ 1) わたっしゃに同じ ああ 2) 私は [会話] 2) 私は言うのを ワッシャ言うね (言うのです)。ワッシャなあ言うけど (言うが)、ワッシャ言う人も あんねなあ (有るのです)、ワッシャなあ 言うてなあ

ワッチ【名詞】Watch 船の見張り 当直 [会話] ブリッジの上でなあ しとんのを (しているのを) 言うけどなあ (言います)

わっぷ (割賦)【名詞】割り当てる事 配当 (志 (布施田)、津、上、阿) [会話] ワップ、分ける。ワップな (が) 足らんやんかあ (足りない) こやまあ (これは) 言うて。なんやかや 物な (が) 有って、分ける やんない (でしょう)。ワップな 足らんやんかあ こや (これは) 言うて。分け前な (が) 足らんで来ると ワップな足らんで来たない (来ました) 言う (言います)。

…**わな**【接尾語】【助詞】のです やわなの形で (伊賀南部)

わなってきた 1) 大声で呼んで来た。2) 頭痛が激しい。3) 草木が雑然と生い茂って来た。(志)

わなる【自ラ五】1) 大声で呼ぶ。2) 草木が生い茂る。3) 頭が激しく痛む。

わび (詫)【名詞】詫がる事。許し 思いわずらう意から (広辞苑)

わびごと (詫事)【名詞】謝る言葉。謝罪する言葉、又その事

わまあし。わまわし (わまはし)【名詞】子供の遊び。自転車、輪等 輪になっているものを支持棒で支えてころがす遊び (一ヶ所での回転でなく輪をころがして走る) (津、南、熊) [会話] わあ (輪) まあしおったの (廻して居たのです) ワマアシや言うて。桶のわあ (輪) 外すやんない (でしょう) それ もらいん (に) いて (行って)、かねの のおも (の) 有りお ったやんかな (有ったではありませんか)。かぬ (鉄) の のおえ (の)に わあ (輪) つけて ちりんちりん 言うて それよお買わんと (買えないと)、磯桶や (とか) こが (樽) のわあ (輪) を よお (よく) 廻しお ったなあ (廻して居ました)。たあご (たご) のわあ (輪) は ちっちゃい (小さい) けど (が) こが (四斗樽) のわあ (輪) を よお 廻しお ったなあ (廻して居ました)。

わや【名詞】【形容詞】1) わやくの転 失敗 わやくおうわく (枉惑) の転 筋の通らない事 そのようなさま 無理 すっかり壊れる事 台無しになる事 又そのさま 乱雑 めちゃくちゃ 無茶 (志 (片田、浜島、布施田、甲賀、神明、立神、国府)、鳥、桑市、員、鈴市、安、津、一、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南) 2) 悪戯 悪ふざけ (鈴市、員、上、阿、張、名、度、北) [会話] 1) あやあれ (あれ) 此処ら ワヤん (に) しとんねな (して居るのだ)。なんやかやひろげてとか、まけてとか、こぼしてとか、目茶苦茶に しとる (して居る) 言う事を ワヤや (だ) 言う の (のです)。ワヤも ワヤクタも わやくしゃも 一緒 や (です) 皆。桶屋の納屋やれ (だ) こや (これは) ワヤやれ (だ) 言うて、桶屋の納屋行くと 輪 (わあ) ぼつかやんかい (ばかりです) うちやれた (壊れた) 輪 やら、作った 輪 やてやら (だとか)、そやもんで (それで) 桶屋の納屋で ワヤや (だ) 言うて。ワヤや (だ) 此処ら ちゃあ まけて (こぼしてしまつて) 言うて。お茶まけたり (こぼしたり) すんのも (するの) まあ そやれ (それ) 此処ら ワヤん (に) したたれ (してしまった) お茶 まけて (こぼしてしまつて) 言うしなあ、そこらひろげて (散らかして) 物も ちらかしとる (散らかしている) やんない (でしょう)、ワヤやなあ (だ) まあ 此処ら言うて。2) ワヤや (だ) 言うので 悪戯 悪戯してまあ わやくちゃん (に) おおたれ (合つた) 言うてなあ。

わや【代名詞】お前は (南)

わやく (枉惑)【名詞】悪戯 オウワクの略。ワワクの転 (大言海) (志、桑郡、桑市、員、三、四、鈴市、亀、安、津、久、松、上、阿、張、伊) [会話] いたずら しといてくなあ (しておいて行くと) ワヤク してまあ言うて わやくし (悪戯者) やなあ (だ) あのかあ (子は) あんな (彼が) 来たら ワヤク しといてく ね (しておいて行くのだ) 言うて、わりことし (悪戯者) やなあ (だ) 言うたりなあ。

わやくし【名詞】悪戯者 わやく参照

わやくそ 無茶苦茶 (南) [会話] ワヤクソん (に) するやれ (するのだ)、そいな (そんな) もな (物は) 言うて。わり (悪い) 事 するとなあ ワヤクソん (に) してまあ言うて 目茶苦茶や (です)。

わやくた【形容詞】無茶苦茶 (上、阿、南) わやく参照

わやくたれ【名詞】悪戯者 (一)

わやくちゃ【形容詞】無茶苦茶 (志 (布施田)、南、熊)

わやくや【名詞】【副詞】1) 大勢がさわぐさま 混乱す

ること 2) 目茶苦茶 [会話] 2) わやくそも ワヤクヤも 皆一緒や (です)

わやする 悪戯をしている 悪事をする (北) [会話] ワヤスル 言うけどなあ (言います)、わざし (悪戯者) やなあ (だ) 言うて。ワヤシテ しょんべたごい (小便壺に) なんか放り込んでたり (でいったり) 大戸口い (に) 樋 さんがらかして (吊るして) 出て来ると、ごんとする よん (ように) わざして (悪い事して) あや (彼は) わざしやなあ (だ) 言うて、まあ そや (それ) わざして (悪戯して) わやんなつとられ (目茶苦茶になっている) 言うて。悪戯するとか わり (悪い) 事するとか。

わやつく【自カ五】 1) 身がなんとなく むずむずする感じ 2) 騒ぐ [会話] 2) 喧ぐとなあ よけ (大変) ワヤツクナまあ 言う時も 有るけどなあ (が)。わやわやと ワヤツイトラレ (ている) 言うて、にげな (人間が) よけ (沢山) 寄って あすこな (が) どおでなあ こおでなあ いろいろの話 世間話を、みんな (皆が) よって (集まって) 言うどるやんかい (言っているで有りませんか)。それを ワヤツク 言うてなあ。1) 体な (が) かいても (痒くても) わやわやしとる (している) ワヤツクナア 言うしなあ (言います)。

わやにする 乱雑にする 丁寧にしない [会話] 其処ら 広げまくる (ちらけさがす) 事で なんやかや ませたり 散らばしたり すると ワヤニスル 言うて、其処ら わやんしといてたれ (しておいて行った) わやん (に) しといてたない (しておいて行った)、あいらな (彼等が) 今日は来たんかして (来たのか) 言うて。

わやや 無茶苦茶だ 失敗だ (志 (浜島)、南) [会話] なんもかも (すべて) まけたり (こぼしたり) こねたり して 一杯ん (に) そこら (其の辺) 散らかしてとんのおをなあ (て行っているのを) 無茶苦茶ん (に) なつとんのを (なっているのを) ワヤヤ。

わよ【代名詞】 お前さん (志)

…**わら** です。します。

わらいきってく 大笑する。

わらいきつとる 大笑している

わらいこ (笑子)【名詞】 よく笑う子供

わらいこける (わらひこける)【自カ下一】 笑い転げる 体を大きく動かしてひどく笑う。[会話] おかしな事 言うて よけ (沢山) 笑うと、ワライコケル 言うて。腹のわたな (臓物が) よれてたよお (振じれた) 笑ろ

て (笑って) 言うて。

わらいすえる 大笑いする (北) [会話] 笑いこける。

ワライスエル 言うて、ワライスエトシネ (ているのだ) おんな (俺が) こげん (こんなに) 言うたや (言ったら)、おかし (面白い) のおで (ので) 言うて、おかしな (変な) 事言うとなあ 笑いきってた (ていった) 言うたりなあ、よけ (あまり) 笑うと 笑いきってた 言うのなあ (です)。げたげた笑いして 言うてなあ。

わらいたがりや【名詞】 よく笑う人。少しの事でも笑う人。

わらいもん (わらひもん)【名詞】 笑物 冷笑すべきものものわらい 笑者 冷笑されるような行ないをする人

わらう (わらふ) (笑)【他ワ五】 笑う 1) 痺れて又は疲れて動けなくなる 2) 力が入らず機能しなくなる。

(阿、張、名) [会話] 1) 膝がワラウ 2) なあ (縄) のおといて (なつて) やいこいと (柔かいと) さいご (その時) ワロトシネナア (わらっているのだ) 言うて、にこにこ どいらい (大変) 機嫌な (が) ええ なあ (よい) 言うて、ふご (畚) のひぼ (細) なうと やいこお (柔かく) になると おおた (ああ) ワロトラレ (笑っている) 言うて。

わらえてくる 笑いたくなる。面白い。(鈴木、津、安)

わらかす (笑)【他サ五】 笑わせる 笑わす ワラワカス の約 (広辞苑) (多、南、熊) [会話] よけ (あまり) ワラカスなまあ (笑わせるな)、しょんべ (小便) たれたたない (してしまった) 言うて。おなご (女) ら笑うと しょんべ (小便) ちびつたる (漏らしてやる) 言うて。臍な (が) 西国 したれ (した) 言うやんかい (言います)。臍な (が) よけ (沢山) わろて (笑って) わろて (西国) した 言うて、わろて ぺこ ぺこするもんで (ので)、臍な (が) あっちゃい (あちらい) 行き こっちゃい (こちらへ) 行き したもんで (ので) 西国 した、言うんやろなあ (言うのでしよう)。

わらかす (破)【動詞】 割る 壊す (桑市)

わらかすな 1) 笑らわせるな 2) 割るな

わらさ【名詞】 1) 魚名 鱒の幼魚 全長 60cm前後のものを言う肉の味はやや淡白 (志、桑郡、桑市、鈴木、安、上、阿、度、伊、北、尾、熊) 2) 子供の横着な事 [会話] 1) 魚のワラサやなあ (です)。2) そして にげ (人間) も よけ (あまり) おっちゃく (横着、乱暴) したりすると、ワラサ 言うて、そして、わらしやなあ (だ) 言うて こららな (子供が) おっちゃく

(横着)すると ワラサ 言うてよお (よく) わるうね (叱るのです)。よけ おっちゃん、悪事したりすると ワラサやよつて (だから) 言うて わるいおつたてや (叱って居たのです) 子供ら。

わらし (童) 【名詞】 子供 [会話] にげ (人間) も よけ (あまり) おっちゃん (横着) すると、ワラシやなあ (だ) 言うて

わらしごと (藁仕事) 【名詞】 藁でいろいろな物を作ること [会話] お婆さん ワランゴト えてこおて (得意で) 糞も上手に作りおつた (居ました) そやもんで (それだから) ふご (畚) も 編んでくれる。

わらす 【他サ五】 割る

わらばい (わたばい) (藁灰) 【名詞】 藁を焚いて出来る灰 (桑市、一、鳥) [会話] 藁 焚いた後をなあ、火鉢い (に) 入れん (ののです)。ワラバイは、炭な (が) よお (よく) いかって (持って)、ワラバイな (が) 無けな (れば) 炭な (が) 持ちな (が) わりいてなあ (悪くて)、いつ迄よお (よく) いかって ワラバイすると。

わらび (藁火) 【名詞】 藁を焚いておこす火 溺れて体温の下がっている者は藁火で温める [会話] ワラビは こごえた (凍えた) 人を あぶるとなあ (温めると) こごえとんのな (冷えているのが) なおんね (治るのです)、ワラビ 焚かな (なければ) なおらせん (治りません)、ワラビは人な (が) あたたまんねよつてなあ (温まるのだから) じんわりとなあ あや (あれは) ひいな (火が) ばあつと立たんとなあ (立たずに) やいこお (柔かく) 立つもんで (ので)、じかん (直接) あたたのおて (熱くなくて) ひい (火) の ねきい (近くへ) いても (行っても) わりあたたねえ (悪く熱くない) もんで、そんで (それで) こごえた人を、ワラビで ぬくとめんね (温めるのです)。

わらぶき (藁葺) 【名詞】 茅や藁でふいた屋根又その家 (安) [会話] くさやぶきの事 ワラブキや (だ) 言うて、ワラブキ。かやぶきとも言うしなあ (言います)。たごやい (田小屋へ) 行くと、ワラブキやもんで (なので) 田小屋みたよななあ (のようだ) 言うて、ワラブキの家を (は)。田小屋言うのは たあ (田) に雨な (が) 降ったりすると はいるのん (に) 田小屋言うて 皆 建てとりおつたやんかい (建てて居たで有りませんか)。

わらぶきや (藁葺屋) 【名詞】 屋根を藁で葺いた家 [会話] わらぶき 草屋 草屋葺き

わらべし (童) 【形容詞】 子供らしい。子供じみている。

わらべし参照

わらわかされとんね、**わらわかされる** 笑わされて居る。

わらわかす (わらはかす) (笑) 【他サ五】 **わらわす** (わらはす) (笑) 【他サ下一】 笑わせる。笑うようにする。人をあざける時に使用する。(南、熊) [会話] よけ (あまり) ワラワスなあま あ 言うて、あの人な (が) 面白い事ばつか (ばかり) 言うもんで (ので) ワラワカサレトネよお (ているのだ) 言うて。

わらわんか、**わらわんかい**、**わらわんかな** (女性語)。**わらわんかれ** 笑いなさい。[会話] ワラワンカレ のも (お前も) そげん (そんなに) ぶつちよおづら (佛頂面) ばつか (ばかり) しとらんと (していなくて)、笑ろても (笑っても) 見よまあ (見なさい) 言うてなあ。いつでも 怒ったよおな顔しとる (している) こおやなあ (子だ) 笑ろても みよまあ ぶちよおづら して じよおく (いつも) 言うて、笑いなさい 言うのを ぶちよおづら しとらんと (していなくて) まあ にっこりも せえまあ (しなさい) 言うてなあ。

わらんじ (わらんぢ) 【名詞】 草履 (志 (片田)、桑市、三、一、上、阿、名、伊、鳥) [会話] わらんじの事を なあ ワランジ履いて あやあれ (あれ)、手甲してまあ 旅ごしらえやなあ (だ) 言うて。

わらんじかけ (わらんぢかけ) 【名詞】 足袋の古くなったもので、畑へ行くのに履いたりするもの (志 (片田)) [会話] ワランジカケ 言うて。わらんじ (草履) の代りに 草履と足袋と 履くのを ワランジカケんせえ (にしなさい) 言うて、悪い足袋で 土足袋ん (る) すん (に) のを、びろれん (びろびろ) に なつとんのを (なっているのを)、履くねやんかい (のです) そして 買い山 行く時でも 草履履いて 破れ足袋 履いて。

わり 【形容詞】 悪い 望ましく無い状態を広く言う語。好ましく無い状態である。品質が劣って居る。美的に劣って居る。(志 (布施田、志島、御座、鶴方、神明、立神、甲賀、国府、安楽)、鳥 (加茂)、鈴市、松、多、張、度、伊、北、南) [会話] こや (此は) ワリワレ (悪いです) 言うて、なんでも (何でも) ワリもん (物) こやまあ (これは) ワリワレ ほつたれまあ (捨てなさい)、こいなもな (こんな物は) 言うたり (言ったり)。悪いのおを (のを) ワリ言うて、こいなもな ぜん (金銭) に なるかれ (ならない) こいな ワリもんなあ (物は) 売ろ言うたてて (言っても) 売らよかれ (売れない) 言うて。悪い言わんと ワリ言うて。

わり (割) 【名詞】 1) 自分の取り分。割り当たる分。分け前。2) 負担分 [会話] ¹⁾ 当りな (配当が) わりと (悪いと)、ワリな (が) わりやんかれ (悪い) こや (これは)

わりあい (わりあひ) (割合) 【名詞】 頭割りしてそれぞれの負担分。割り当て [会話] 頭割りすんの (するのを) ワリヤイ。日待ちしてなあ 一円も出して おおた (ああ) 此の日待ちや (は) どいらい (大変) ワリヤイな (が) たっかかったなあ (高かった) 言うて よけ (沢山) ごっそ (御馳走) した よってんだ (からだ) 言うて。

わりあい (割合) 【副詞】 比較的 思いのほか [会話] あのひた (人は) ワリアイ ええ (よい) 人やなあ (だ) 言うてなあ、おもたより (思ったより) ええと あのひた、あげん (あんなに) さっぱりしたよおん (ように) しとるけど (しているが)、ワリアイ こまかいどお (けちだ) 言うて、自分な (が) おもとんの よりも (思っているの) 以外に派手な (だ) とか こおと (質素) な とかなあ。

わりい (悪) 【形容詞】 悪い。ワルイの転 (大言海) (志 (鶴方、神明、立神、志島、甲賀)、三、鈴市、津、安、一、久、松、多、阿、張、度、伊、鳥、北、尾、南、熊)

わりいする 悪くする (一) [会話] あの人まあ 後妻で こお (子) ワリシタンテナイ (したそだ)、苦しめん (る) のをなあ、ワリスル 言うて、姑婆をワリスンネテナイ (するそだ) 言うたり、わり (悪い) 事する言うんか つろお (つらく) 当る事なあ。

わりいすると 1) 最悪の場合、万一 2) 悪くすると、辛い目にあわす。[会話] ²⁾ ワリスルト ばちな (罰が) あたんど (当るぞ) 言うて、人を苦しめたりするとなあ、ばちな 当る言うのを。あのひた (人は) まあ 姑婆を わりい (悪く) したよって (したから) 三味線やあれ (だ)。三味線てや (とは) 猫のかあ (皮) で ばちな (撥が) 当るやんかい (です)。そや よって (だから) あや (彼は) 三味線やあれ (だ) ばちな (撥、罰が) あたられ (当る) 言うて。¹⁾ ワリスルト言うて ひよっとしたら 言うのも 有るしなあ、ワリスルト どおやら (か) 分からんとなあ 病人な (が) 有って その人な (が) ええんやら (よいのか) わりねやら (悪いのか) 分らんよん (ように) しとると (していると)、ワリスルト しんでく (か) (死んで行くか) 判からせんなあ (ない) 言うてな、

ワリスルト あやまあ (彼は) 助からせんやら (ないか) 判からせんなあ 言うて。

わりいて 悪くて [会話] まあ ぐあいな (調子が) ワリイテ言う時も有るしなあ、物な (が) わりのも (悪い) 有るしなあ、意地のわり (悪い) のも意地な (が) ワリイテ まあ、あのひた (人は) 言うの (のです)。此のふか (服は) 生地な (が) ワリイテなあ とか、色な (が) ワリイテとか そいな (そんな) 時ななあ (に)。

わりおっちゃく 【名詞】 悪いたずら。悪い乱暴。

わりかし。わりかた 【副詞】 【名詞】 比較的 割合に (志 (布施田、神明、立神、鈴市、安、一、久、上、阿) [会話] ワリカタ あのひた (人は) 賢い人やなあ (だ) 言うたりなあ。ワリカタ ええ (よい) 人や (だ) 言うたり、おもた (思った) のおより (のより) ええなあ (よい) 言うのを、ワリカタ言うなあ 比較的言うのなあ (です)。わり (悪い) 人や (だ) おもとたのん (思っていたのに) おもたより (思ったより) ええ人やなあ (だ)、ええ人や (だ) おもとたのん おもたより、わり人やのお (だ) 言うて、そいな (そんな) 時ん (に) 使うの (のです)。

わりかった 悪かった [会話] 悪るかった言うのを、ワリカッタ言うの (のです)。そやまあ (それは) おん な (俺の) 言い方な (が) ワリカッタ言うて、相手に謝る事やわい (です) ワリカッタのお 言うて。

わりかったなあ。わりかったのお 悪かった 詫びる時の言葉 ごめんさい (南) [会話] 目下の人ん (に) 言う時や (は) ワリカッタノオ、おん な (俺の) 言い方な (が) 言うて、目上のもん (者) に 言う時や (は) ワリカッタナア 言うてなあ。謝る時ん (に)

わりかど 比較的

わりがる 悪く思う。恥ずかしがる。(阿、張)

わりき 【名詞】 割った薪 (志 (布施田)、桑郡、桑市、員、四、鈴市、鈴郡、安、津、一、松、上、阿、度、伊) [会話] ワリキ 軒のワリキもさと (砂糖) つけや (つければ) まいよお (美味しい) 言う (言います) ワリキでも さと 付けや 美味しいわれ (です) 言うの (のです)、なんでも (何でも) さと つけさいし や (つけさへすれば) 美味しい言うのなあ (のです)。ワリキ 言う と 薪 薪のワリキ。

わりぎ 【名詞】 悪気 [会話] ええ事 (よい事) おせても (教えても)、わり事 (悪い事) するにげは (人間は) またなあ ワリギな出てくる。

わりくう とばかりを受ける [会話] とばかりくうて

まあ 言うて、とばしくてまあ あんな(彼が) こげん(こんなに) したや(したら) おらも(俺も) ワリクウテ、怒られてまあ言うて

わりくち。わるくち【名詞】 悪口(志(鶴方 志島)、鳥(国崎)、鈴市、阿、張、名、度、伊、南) [会話] 人のワリクチ その人な(が) おらへんのん(居ないので) 言うるとと(言っていると)、それこそ その人な(が) 聞いたら、物事やれ(大変だ) えらい事やれ(大変だ)

わりぐち【名詞】 悪口(志(鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、張、名)

わりご【名詞】 反物を中央から二つに切り別の布を入れて広くすること 又その物 [会話] ワリゴ言うな(のは) ひとはば(一巾) ん(の) のおを(のを) 真ん中い(へ) 違うきれ(布) 入れんの(入れるのです)、切っというて(ておいて) 両端はうなしんのお(同じのを) して、真ん中へ違うの(のを) したりして ワリゴノジバン言うな(のは) そおで(袖) を 三つにして あんねてや(してあるのです)。

わりこと【名詞】 悪事 悪い事 いたずら(志、桑郡、三、四、鈴郡、一、上、阿、張、名)

わりことし【名詞】 悪事師 いたずら者 いたずらをする子供(伊)

わりごのじばん【名詞】 袖を作る布をわりごにして作った襦袢 わりご参照

わりこむ(割込)【自マ五】 無理に入る(松) [会話] あんな(彼が) ワリコンデキテまあ、おらな(俺達が) こげんして(こんなに) おんのおに(居るのに)、ワリコンデキテ いなん(いらぬ) 事言うて、喧嘩させてまあ(させて) 言うて。狭いとこ(所) むいて(向かって) 押し割って くんのも(来るのも) ワリコム言うてな。ほん(本当に) せぼおて(狭くて) 入られんのを ワリコンデキテ言うてなあ。

わりころされた 激しく叱られた。

わりころしたた 激しく叱ってやった わりころす参照

わりころしたれ 1) 激しき叱ってやれ 2) 激しく叱ってやった

わりころす 激しく叱る。[会話] わるい殺された 言うてなあ。よけ(沢山) 怒られると、おら(俺は) まあ わりころされて言うてなあ。子供ら わるいたると(叱ってやると)、ワリコロス、わるいころしたたれ(てやった) 言うてなあ。言う事聞かんで(なくて) ワリコロシタ言うて。

わりさぞい 悪賢い

わりしやれる 悪くされる。苛められる。[会話] 苦しめる、苦しめんの(ののを) ワリシヤレル言うてなあ、おらまあ(俺は) せんぎり(十分) あの人ん(に) ワリシヤレル 言うて、意地わり(悪く) しやれるとなあ(されると)。

わりする 悪くする(一)

わりすると 悪くすると 万が一 わるすると参照 [会話] ワリスルト、今日は こや(これは)、雨ん(に) なるか わからんなあ 言うて、若し悪いよおに 廻ったら言うよおな意味や(です)。

わりぜわ【名詞】 うるさく世話をやくこと ほっとく参照 [会話] にげ(人間) でも あんまり(あまり) ワリゼワやいたりすると、あいなもん(あんな者) の言うこた(事は) ほっとけ(すてておけ) 言うて

わりだくまし 狡猾である [会話] たくまし(たくましい) 言うな(のは) ええ(よい) 言葉では あんねけど(あるのだが)、どおな過ぎると(度が過ぎると) 人をひんのけといて(押しのけておいて) でもするやんかい(するで有りませんか)、そやもんで(それで) わりさぞいとか、ワリダクマシ とか言うて、ええ(よい) 言葉みたいん(のように) しとんねけど(しているのだが) ちよいと(少し) わりね(悪いのです)。

わりつぎ【名詞】 中央から二つに切ってその間に物を入れて継ぐこと [会話] ワリツギ 言うななあ(のは)、ふたあつん(二つに) 真ん中から分けといて(ておいて) それを 火伸でな したると(してやると) じっばん(立派に) なんねてや(なるのです)。そんだい(その代り) 縫目を返し針とか こまこお(小さく) 縫うてなあ すると 縫目な(が) 判らんよん(ように) なつてくね(なつて行くのです)。

わりて 悪くて

わりと(割)【副詞】 比較的 思いのほか(志(立神、志島、甲賀)、鈴市、多、松、阿、北、南、熊)

わりな(割菜)【名詞】 割り裂く所から里芋の茎の皮を剥いて干したの。食品、ずいき(志(布施田、鶴方、神明、志島、国府)、鈴市、南、熊) [会話] 里芋の茎の剥いたのおを(のを) ワリナ言うの(のです)。ワリナを鱈のこお(種) に しよおったり(したり)、こおもおけると(出産すると) おびやど(産婦) な(が) ふるち(古血、汚い血) が おりてく(おりて行く) 言うて ワリナを食いおった(食べて居ました)。昔の人ら(は) おびやい(出産した人の居る所へ) いたら(行ったら) ワリナ汁食え(食べよ) 言うて、ワリナ

を おつけい (味噌汁へ) 入れて食いおったの (食べて居たのです)。鮪、はつんまや (初午とか) 嫁どりや (結婚式だ) 言うても (言っても) 今し (今) みたよん (のように) 干瓢 いよかな (入れません) ワリナ を 皆 入れよおったもんで (入れて居たので) よけ (沢山) こしゃえて (作って)。秋ん (に) になると 盆 過ぎると 里芋の茎な (が) ぶえとんのお (繁って居るのを) 刈って来て、浜い (へ) もて来て (取って来て) 剥いて 干して それを 皆な (が) かこいおったの (取って置いたのです)。ししな (生乾き) ん (に) なったとこを (所を) みつぐみん (三つ編みに) して 二つを ゆわえて (結んで) 引っ掛けて。ししな なまがあき (生乾き) の事 ししな言うの (のです)。生乾きんのおを (ののを) 三つぐみん (に) 組んで さがらかしとくんやんか (吊るしておくのです)。

わりない (理無い) 【形容詞】 どうしようもなくつらい
わりきれない 理屈で割り切れない

わりなじる 【名詞】 わりなを具にした味噌汁 わりな参照

わりなる 悪くなる 悪化する (一、久、上、阿、南)
【会話】 ワリナツテキタ (ていった) 言うの (のです)。
着物でもなあ 破れてたりすると (ていったり) まあ
こや (これは) ワリナツテタレ (ていった)、なんでも
なあ まあ ワリナツテタ (ていった) よって (から)
ほったろや (すてましょう) 言うて。ワリナツテ
タよって 又 こおてくれえ (買って下さい) 言うて。
悪くなる ワリナル言うね (言うのです)。使われん
よん (ように) なつたのなあ (なつていったのです)
ワリナツテテ (ていて) こや (これは) まあ ほ
ったろや 言うて。

わりに 【副詞】 比較的 較べて 一般と比較すると [会話]
そのワリニ ええなあ (よい) 言うて、わりいて
(悪くて) ほったろか (捨てようか) おもたけど
(思ったが)、そのワリニ ええよって (よいから) も
おちよいと (もう少し) おいとこか (置いておこうか)
言うて、えごつと (十分に) 見たや (ら) わりや
いと (比較的) まだ 勿体ないなあ 言うて なあ。

わりのお 悪いですね。1) ご免下さい。2) 頂きます。

わりばし 【名詞】 悪戯者。ばしは法師の詛か。

わりもん 【名詞】 1) 悪者 2) 悪い物 (南) [会話]
② ばちばち 海草の中で 一番ワリモンやなあ (です)
、食われやせんし (食べられないし) こえんも (肥料にも)
ならせん (なりません)

わりもん 悪いのだ。

わりや お前は 目下の者を叱る時に用いる。(志、多、鳥、北、熊、南) [会話] ワリヤ おのれ どづいた
んど (叩いてやるぞ)、お前言う事かい (ですか)。ワ
リヤ そいな事 (そんな事) さらして (して) どづい
たんどお 言うて。あらくたい (荒い、粗い) 言葉で
ワリヤ そいな (そんな) とこい (所へ) けつかって
(居て) 言うて。ごおなわく時ん (腹の立つ時に)、怒
る時ん (に) 使う言葉やなあ (です)。ワリヤ 言うて、
どぐらしたんどお (叩いてやる) 言うて。

わりやい 【名詞】 【副詞】 ワリアイの転 (広辞苑) 1)
分配 (鈴市、松、多、伊、北、尾) 2) 分担 3) 比
較的 わりやいと 参照 [会話] ① 仲間で ぜん
(銭) 出して 買おて (買って) ワリヤイ しょおや
(しましょう) 言うて。

わりやいつけたら ばかでもかしこい 【俚諺】 加担すれば
馬鹿でも一人前通用する。

わりやいと 【副詞】 比較的 [会話] ワリヤイト 今日
は ええ (よい) ひい (日) やつたなあ (だった) 言
うて 雪降りや (だ) おもたや (思ったら) ま ワ
リヤイよお (よく) なつたなあ (なつていった) 言
うたり なあ。

わりやおどれ 【感動詞】 叱る時の言葉 お前はおのれ
(尾) [会話] ワリヤオドレ 叩殺したろん (てや
ろん) 言うて なあ、怒る時ん (に) おどれ 其処ら此
処らん (に) おつて (居て) 見よ、言う時も 有るん
なあ (有るのです)。おのれやなしん (でなくて) おど
れ、おどれ そどれ 其処ら此処らん おつて 見よ
言うんなあ (言うのです)、おどれ そどれ 言うて もの
すごお (物凄く) 腹な (が) 立ととる (ている) 時ん
なあ (に)。

わりゆう 悪く言う (志 (鶴方、神明、立神、志島、国
府)) [会話] ワリユウ 言うな (のは)、苛められる
言う事や (です)。あや (彼は) ワリユウ て まあ 言
うて 先生のわりくち (悪口) 言う と なあ、わりくち
言うたり なんやすると (なにが)、ワリユウ て なあ。

わりよて 分けあって [会話] 皆な (が) いて (行っ
て) ワリヨテ 食うて。

わりわい、**わりわな** (女性語)。**わりわれ** 悪いです。悪
いのです。[会話] あのゆいぐさな (言い方が) ワ
リ ワレ 言うて、言い方が 気に入らんと。

わりん 【副詞】 比較的 較べて [会話] 今日 は さぶ
い (寒い) 思わざつたけど (なかつたけど)、ワ
リン さぶいなあ (寒いです)

わりん 悪い

わりんでや 悪いのです。[会話] なんやら (何か) 腹の調子な (が) ワリンテヤ。

わりんでわい 悪いそうです。

わる (悪) 【名詞】 悪者 悪人 [会話] あやまあ (彼は) ワルやれ (だ) 言うて、わりことをなあ (悪い事する人) わるさや (わるい事する人だ) 言うて。わるさ (悪い事) して まあ あや (彼は) ほんどん (本当に) わるさや (悪戯者だ) 言うてなあ。ワル言うて悪い事する人間も言うし わるさして (悪い事して) 言うて、わるさや あや (彼は) まあ 言うて。

わる (割) 【他ラ五】 うちあける。腹ワル。

わる 【他ラ五】 孵化する (三)

わるあそび (悪遊) 【名詞】 悪い遊び いたずら 博打や女遊び [会話] わりこと (悪い事) ばっか (ばかり) すんのをなあ (するのを)、ワルアソビして 好かんねてや (嫌だ) 言うて。男の こお (子) やとなあ (だと) 尻のほお (方) までん (に) きたり 乳 掴みん (に) きたりしてなあ、わりこと (悪いこと) するこお (子) な (が) おりおったなあ (居ました)。じつきん (すぐに) 尻まくりん (に) きよおったやんかい (来て居たて有りませんか)。ワルアソビして まあ あんな (彼が) 好かんねてや (のだ) 言うてな おっちゃん (横着な) 事 するとなあ、わりこと (悪い事) の よれ (沢山) してなあ。

わるいころされた 激しく叱られた

わるいころされる 激しく叱られる。殺される程叱られる。わるころされる参照 (志 (布施田))

わるいころす 激しく叱る。わるころす。

わるいた 叱った

わるいたた 叱ってやった [会話] ワルイタタ (てやった)。あんな (彼が) 好かん (嫌な) 事して おっちゃん (横着) するもんで (ので)、おんな (俺が) せんぎり (十分) ワルイタタね (てやったのだ) まあ 言うて。叱ったた 言うのをなあ、ワルイタタねまあ 言うて。おら (俺は) わるわれたよお (叱られた) 言うてな、怒られたにぎゃ (人間は) わるわれた言うて。

わるいたらんかい。わるいたらんかな (女性語)。わるいたらんかれ 叱ってやりなさい [会話] 怒ったれえ (てやれ) わり (悪い) 事ばっか (ばかり) したるわい (しています) 言うて、ワルイタランカイ 言うのなあ。

わるいたる 叱ってやる [会話] わるいたらな (なければ) はざんわれ (いけない) まあ あや (彼は) お

っちゃんよってん (乱暴なのだから) 言うてな、叱ったる (てやる) 言うの (のを) ワルイタル。

わるいたれ 1) 叱ってやれ 2) 叱ってやった [会話] 1) ワルイタレマア、わりわれ (悪いです) あのかあ (子は) おっちゃん (乱暴) して、あやれ あげな (あんな) こと すんねない (するのだ)、ワルイタレマア 言うてなあ、叱ったれ (てやれ) 言うのなあ (です)。

わるいたれえ 叱ってやりなさい。怒ってやりなさい。[会話] どいらい (大変) わり (悪い) 事しとんない (している) ワルイタレエ 言うて。

わるう 叱る (志 (浜島、片田、畔名、国府、立神、志島、甲賀)、鳥 (答志))

わるうしたら 悪くいった時は、万一の時は (阿、張、名)

わるがき 【名詞】 悪戯な子供 [会話] ワルガキやなあ (だ) 言うて、おっちゃん (乱暴な) 子らをなあ ワルガキや (だ) 言うて、わるがき ワルガキや (だ) 言うね (言うのです)。

わるがしこい (悪賢) 【形容詞】 賢いが性格が悪い。狡猾で有る。

わるがる (悪) 【他ラ五】 恐縮する 恥ずかしがる (鈴木、張) [会話] おらな (俺が) わりいたら (叱ったら) ワリガッテまあ 言うてなあ。

わるころされた ひどく叱られた [会話] わりころされた (叱られた)、わりころしたたね (叱ってやったのだ) まあ おっちゃん (乱暴) するもんで (ので)、ものすごお (大変) 怒られた時んなあ (に) ワルイコロサレタ言うの すごく怒る時ん (に) なあ ワルイコロサレタまあ 言うて、わるいたるとなあ (てやると)。

わるころされる 叱られる 大変叱られる

わるころす 叱りつける わるいころすに同じ (志)

わるさ 【名詞】 1) 悪事 いたずら (志 (布施田)、南) 2) 天然痘 3) 賭博 [会話] 1) ワルサ ワルサする言うて。2) 昔の人は いもくさん (あばた面に) なんのを (なるのを) ワルサや (だ) 言うて。ワルサわずろて (わずらって) 言うて、疱瘡の事を ワルサ患ろて あのひた (人は) あばたんになって言うて、顔な (が) いもくさんなるやんない (でしょう)、あやまあ (彼は) ワルサ患ろたんなあ (患らったのだ) 言うて、痘瘡の事ワルサや (です)。1) そげん (そんなに) ワルサすんな (するな) 言うて 悪い事すんな言うの (のです) よけ (あまり) ワルサ すんなまあ (するな) ワルサシやなあ (だ)、子供らを ワルサば

っか (ばかり) して言うて。子供らな (が) する悪り事と、³⁾ 博打 あいなのも (あんなのも) ワルサしてあのひた (人は) 博打、ワルサな (が) 好きで あのひた ほんとう (本当に) はざんな (駄目な) 人やてや (だ) 言うて。

わるさし【名詞】 いたづら者 わるさ参照 [会話] よけ (あまり) わるさ (悪い事) すんなま (するな)、ワルサや なあ (だ)。

わるささい。わるさどい 悪賢い。(志 (布施田))

わるしたら 万一 [会話] ワルシタラ あや (彼は) 死んでくやら (て行くか) 判らせんどお (ないぞ) 言うて 病気しとて (していて) ながお (長く) 病んどるとなあ (でいると)。喧嘩ばっか (ばかり) しとるとなあ (している)、ワルスルト あの家や (は) 嫁も戻てくやら (て行くか) 判らせんわれ (ない) 言うて、嫁苛めたりするとなあ。

わるすると 悪くすると 若しかすると うまく行かない時には [会話] ワルスルト 今日はこや (これは) 雨ん (に) なるか判らんなあ。ワルスルト、今日は夕方、雨な降って来るか判らんなあ言うて。若し悪るいよおに 廻たら (なったら) 言うよおな意味や (です)。

わるて 悪くて (桑郡)

わるなる 悪くなる (安、北、南) [会話] ワルナル。悪くなる。子供らでも物凄い横着したりすると あのかあ (子は) わるがしこいなあ言うて、わり (悪い) 事よけ (沢山) するもんで (ので) 物凄いわり (悪い) こお (子) をなあ。

わるばし【名詞】 悪戯者

わるばたえ【名詞】 悪ふざけ 悪騒ぎ、人に迷惑を掛ける、程度を越してふざける事、周囲の人を不快にする程騒ぐ事、ほたえる、ふざける、戯れる [会話] ワルボタエ言うな (のは) 後先考えんと (ずに) ほたえる (ふざける) 子らな (が) 有るやんない (有るでしょう)。危ないとこ (所) も 言わんと (言わずに) 目も鼻も無いよおんして ほたえる 子な (が) 有るんなあ (有ります)。そいなのおを (そんなにを) ワルボタエする 言うて。

わるもん【名詞】 悪者 悪事を働く者 悪人 [会話] 悪い人な (が) 有るやんかな (有ります・有るで有りませんか) あのひた (人は)、ワルモンや なあ (だ) 言うやんかな (言います)。人の事を わり (悪い) 事ばっか (ばかり) する人をなあ、あのひた (人は) ワルモン (悪い者) や なあ (だ) 言うて 人を困らすよお

な事ばっか する人。

わるゆう 悪く言う (志 (甲賀))

わるよおった 叱った [会話] ななつちや (夕方の茶) くろて (飲んで)、しよんべたれんど (するぞ) 言うて ワルヨオッた。

わるわれた 叱られた (志 (畔名、片田)) [会話] 怒られる事を ワルワレタ言うて

わるわれて 叱られて

わるわれる 叱られる (志 (浜島、立神、志島、国府、島))

わるわんかい。わるわんかな (女性語)。わるわんかれ 叱りなさい。怒りなさい。[会話] あんな (彼が) どいらい (大変) わり (悪い) 事しとんない (していません)、わりいたれえ (叱ってやりなさい) 言うて、ワルワんカイ 言うてなあ。ワルワんカイ 怒つたれえまあ (てやりなさい)、わり (悪い) 事ばっか (ばかり) しとるわい (しています) 言うて、わるいたらんかい 言うのなあ。

われ (吾、我)【代名詞】 1) 一人稱 自分 2) 二人稱 お前 目下の者に (志 (片田 布施田 波切)、鳥 (浦村)、桑郡、桑市、三、四、鈴市、安、津、一、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南、熊) [会話] ¹⁾ ワレ。ワレワレな (が) 手の届かん (ぬ) とこやれ (所だ) 言うて、ワレワレ言うて、おらな (俺達の) 言う事を、ワレワレ言うて。²⁾ ワレは言うて、お前は言うわりや (われは) おのれ わり (悪い) 事ばっか (ばかり) さらして (して) 言うて、よお言うなあ (よく言います)。わりやそいな事 (そんな事) ばっか ぬかしてけつかつて (言っ居て) 言うて汚い言葉で。ワレは自分の事も 言うて見たり、怒る時ん (に) 相手を、腹立つ時ん (に) わりや言うて、わりやあ、おのれ どづいたんどよお (叫いてやる) ここらん (に) おつて見よ言うて。

…**われ【助詞】** 1) 文末に有ってしすの意を表す“わい”とも言う。肯定の意を表す(そうだ) (志、鈴市、津、度、北、南、熊) 2) 文末に有って否定の意を表す、しません (志) [会話] ¹⁾ そおやワレ (だ)、あれ したんてワレ (して居たそうだ) 言うて。遊んど たんてワレ (で居たそうだ) とか。あとで ワレや (です)。行くワレ 言うて 行きます 俺も後から行くワレ、なあ (お前) 先い行けまあ (行きなさい) 言うて、行くわい (行きます) 行かれ (行きます) も一緒や (です)。男の人らか目上の人ん (に) 行くわい言うて。ワレ言うな (のは) 同輩のもん (者) に。

われが 自分の物。お前の物。

われか、おれか 鎬を削ること。自己主張

われがちに 我れ先に

われから【副詞】 1) 自分から、他の誰のせいでもなく
自分の行為で 2) 自然に、ひとりでに。

われげ【名詞】 お前の家 (志、鳥 (浦村)、度) [会話]
われ言うと 自分の事みたいなけど (のようだが) 人
の事を言うのなあ (のです)。ワレゲのこおな (子が)
どくなもんな (満足な者が) あるかれ (無い・有るも
のか) 言うて、ワレゲ言うと どいらい (大変) わり
(悪い) 時ん (に) 使うのなあ (です) ワレゲのがき
な (子供が) どくな こおな (子が) あんのかれ (有
るのか) 言うて、ワレゲ言うと どいらい 腹の立っ
とる (ている) 時や (で) なけな (なければ) 言わせ
んなあ (言いません)

われせひとせ 我も人も。自分も人も。[会話] ワレセ
ヒトセ言うのなあ 我も人も言う事やな (です)。ワレ
セヒトセ言うて なんやかやな有ると ワレセヒトセ
言うて みんなな (皆が) 我、我言うて行くのを ワ
レセヒトセ あれ取りんいた (に行った) とか、こし
らえたとか 言うて。ふのり摘みん (に) 行くのでも
ワレセヒトセで行て (行つて) 来たとか 我も人も言
う事やなあ (です)。

われた お前は (志)

…**われて**【終助詞】 されて [用例] すかん事 (嫌な
事) 言ワレテ 情けのおて (なくて)。

われと【代名詞】 1) 自分自身 自稱一人稱 (志 (浜島、
志島、甲賀、国府)、鳥 (加茂)) 2) お前 他稱 (志
(浜島、志島、甲賀、国府)、鳥 (加茂))

われとげ【名詞】 貴方の家。

われとこ【名詞】 お前の家。(一、久、度)

われとら【名詞】 お前達 (志 (浜島、志島、国府))

われとらどおし (我等同志)【名詞】 お前達仲間 銘々
わがとらどおし参照 (志 (甲賀)) [会話] ワレトラド
オシも、わがとらどおしも、わいとらどおしも一緒や
(です)。一緒の意味や (です) 言葉は違うけど (が)
意味は一緒や (です)。

われめ (割目)【名詞】 割れた所 裂けた所 ひび

われめがけて 自分を誇示する [会話] かけのいお。
昔や (は) 一尺位ののいお (のを) しよおったけど (し
て居ましたが)、今しや (今は) ワレメガケテ おつき
いの (大きいのを) するやんな (するでしょう)。

われもととしれ おもしろい【俚諺】 年を取って見なさ
い。老人の苦しみが判るぞ。

われもん【名詞】 1) 割れやすい物 陶磁器、ガラス製
品など割れ物 (張、名) 2) 割れた物 [会話] 1) 茶
碗やどけ (など) 扱う時は、ワレモンやよつて (だか
ら) 注意せな (しなければ) はざんわれ (いけない)、
心得よお (なさい)、がちやがちやせんと (せすに) 言
うて 茶碗あろても (洗つても) ほん (本当に) がち
やがちや がちやがちやするにげな (人間が) 有るわ
い (有ります)。そいな (そんな) 事せんと、こや (こ
れは) ワレモンやよつて そおつとして きい (気)
つけよお (つけなさい) 言うて、年寄りの人らな
(が) 若いもんら (者) んなあ (に) 注意する時んな
あ (に)。ワレモン言うと 茶碗とか皿とか 壊れるも
ん (物) はなあ。

われる【自ラ下一】 1) わかれる 産まれる 2) 離婚
する 3) 大声をあげる (泣く、叱る) 4) 孵化する
(志 (浜島)、上、阿、張、名) [会話] 4) たんばほ
おずき なぎなたほおずき 皆、法螺か螺のこお
(子) やろ (でしよう)。皆、あれから ワレンネやろ
なあ (われるのでしよう)

わろた 笑った。(志、桑郡、桑市、員、鈴市、安、津、
多、伊)

わろて 笑つて。(志、多、伊、南)

わろてくる 笑つて来る 笑へてくる

わろとた、**わろとたれ** 笑つて居た (志) [会話] こげ
ん (こんなに) 言うて ワロトタレ。のな (お前が)
あんごし (馬鹿だ) 言うて、あんごし 事ばっか (ば
かり) 言うよつて (から) ワロトタレ、あのひた (人
は) 言うてなあ。笑つておつた言うの。 阿呆な事言
うとなあ あや (彼は) あんげん (あんなに) あんご
し ねよつて (のだから) あの言う事見よまあ (見な
さい) 言うて 後で 言うのをなあ ワロトタレ の
な (お前が) あんごしよつて。

わろとたわい 笑つて居た。

わろとる 笑つて居る (安) [会話] ワロトル、せんぎ
り (十分) まあ言うて。笑つる時は おらん (居な
い) 時ん (に) わろとんのを (笑つているのを) わろ
とたれ、のお (お前) の事を言うてなあ。

わろべ【名詞】 童 子供

わろべし【形容詞】 子供のようである。大人気ない。
(志 (立神、甲賀)) [会話] ワロベシ 言うやんかい
(言います)。大人気ない事言うのを、ワロベシで あ
やまあ (彼は) 言うて、ワロベシ事ばっか (ばかり)
言うて。大人のくせんおつて (なのに) 子供みたよな
(のような) 事言うて すんのを (するのを) ワロベ

シにげ (人間) や (だ) 言うて。子供みたよん しと
る (して居る)、言うたよおな事ばっか 言うて、大人
気無い 大人みたよな事わんと (言わずに) すんの
を (するのを) ワロベシなあ あや (彼は) 言うて
ワロベシわれ (です)。なまどしよつておつて (なまじ
つか年を取って居るのに) 言うて。

わんざり【**名詞**】輪切り (員) [会話] だいこ (大根)
を まるくとお (丸く) すぼんすぼんと切んのなあ
(るのを)、だいこの ワンザリ。輪切り言うの (の
を) ワンザリや (だ) 言うて、だいこの、ワンザリで
言うてなあ。

わんこ【**名詞**】犬

わんと【**形容詞**】沢山

わんわん【**名詞**】犬 幼児語

わんわん【**副詞**】やかましく、わめくさま。